FUJIFILM

BL03800-100 JA

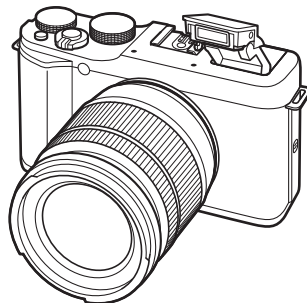
DIGITAL CAMERA

X-M1

使用説明書／ソフトウェア取扱ガイド

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この説明書には、フジフイルムデジタルカメラX-M1 の使い方、および付属ソフトウェアのインストール手順がまとめられています。

内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。

http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/index.html

HDMI

HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

カメラをお使いになる前に

次の手順にしたがって準備してください

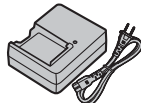
1 箱の中の付属品がすべてそろっているかを確認してください（右記）。

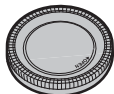
2 カメラを安全に使用されるために、「お取り扱いにご注意ください」（📖 127）をお読みください。

3 本書をよくお読みの上、カメラをお使いください。

■ 付属品一覧

- 充電式バッテリー NP-W126（1 個）

- バッテリーチャージャー BC-W126（1 式）

- ボディキャップ（1 式）

- CD-ROM（1 枚）

- ショルダーストラップ（1 本）
- 使用説明書（本書）
- 保証書（1 部）

✎ レンズキットを買い上げ頂いたときは、交換レンズが付属していることをご確認ください。

本書について

この使用説明書の以下のページを開くと、お探しの情報が簡単に見つかるようになっています。

使用可能なメモリーカードについて

このカメラでは、市販の SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。

本書で使われている記号について

- ❗：カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
- 🏷：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。
- 📖：参照ページを記載しています。

画面のイラストについて

本書では、画面の表示を簡略化して記載しています。

お手入れについて

カメラのお手入れ

長くご愛用いただくために、カメラをご使用になった後は次のようなお手入れすることをおすすめします。

- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などで拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。特にカメラ本体の革については変色の原因になる場合があります。
- カメラ本体に液体が付着した場合は、すぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 液晶モニター表面などの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- センサーのクリーニングはセットアップメニューの **センサークリーニング**で行えます（📖 100）。
- カメラを保管するときは、ボディキャップを取り付けてください。

交換レンズのお手入れ

- 使用後は、ブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてから保管してください。汚れがひどいときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 交換レンズを保管するときは、レンズフロントキャップとレンズリアキャップを取り付けてください。

目次

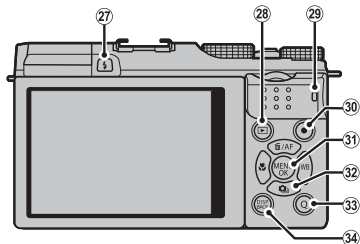
はじめに

カメラの各部の名称

使い方や説明については、各項目の右側に記載されているページを参照してください。

液晶モニターについて

液晶モニターをチルトすると、液晶モニターを見やすい角度に調整して撮影できます。液晶モニターをチルトしているときは、指などが挟まらないようにご注意ください。また、内側の配線などには触れないでください。故障の原因となります。

使い方や説明については、各項目の右側に記載されているページを参照してください。

撮影時のボタンロックについて

MENU/OK ボタンを長押しすると、画面に が表示され、セレクターボタン、**Q** ボタン、⦿（動画撮影）ボタンが使用できなくなります。撮影時に誤って操作してしまうことを防ぎたいときに使用してください。再度、**MENU/OK** ボタンを長押しすると、ロックは解除されます。

モニター晴天モードについて

晴天の野外など、光の反射や映り込みが多く液晶画面が見にくい時に、**Q** ボタンを長押しするとモニター晴天モードになり、画面が見やすくなります。モニター晴天モードは、**表示設定**の**モニター晴天モード**（98）でも設定できます。

マナーモード

操作音などを避けたい状況での撮影には「マナーモード」を使います。マナーモードは、**DISP/BACK** ボタンを長押しして設定します。マナーモードに設定すると、フラッシュや AF 補助光が発光禁止になり、操作音や動画の再生音がオフになります。セルフタイマーランプも発光しません。

- マナーモードに設定すると、画面に が表示されます。
- もう一度 **DISP/BACK** ボタンを長押しすると、マナーモードが解除されます。
- 動画の再生中は、マナーモードを変更することはできません。

セレクターボタン

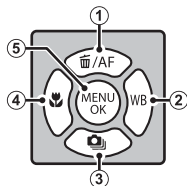
▲▼◀▶（上下左右）ボタンを押して項目を選択したり、機能を使用したりできます。

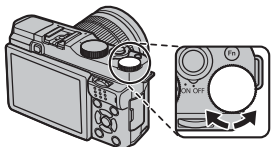
① **上に移動（▲）、**
AF ボタン（📖 60）
🗑（消去）ボタン（📖 34）

② **右に移動（▶）**
WB ボタン（📖 53）

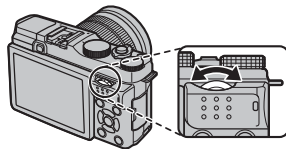
③ **下に移動（▼）**
（連写）ボタン（📖 66、67）

④ **左に移動（◀）**
🌷（マクロ）ボタン（📖 38）

⑤ **MENU**（メニュー）/**OK** ボタン（📖 79、88、95）

メインコマンドダイヤル

メインコマンドダイヤルを回転して、以下の操作ができます。

• 露出補正やシャッタースピードの変更（📖 51、63）
• クイックメニューの設定値を変更（📖 41）
• 再生時に前後の画像を表示（📖 31）

サブコマンドダイヤル

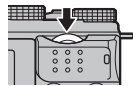
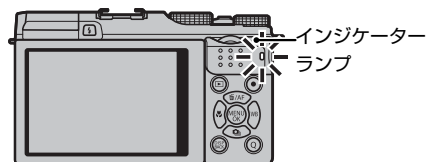
サブコマンドダイヤルでは、以下の操作ができます。

■ 回転する

• プログラムシフトの調整（📖 48）
• シャッタースピードや絞り値の変更（📖 49、50、51）
• クイックメニューの設定値を変更（📖 41）
• 再生時に画像を再生ズーム（📖 32）
• 再生時に画像をマルチ再生（📖 33）

■ 中央を押す

• マニュアルフォーカス時にピント位置の拡大表示（📖 59）

• マニュアルフォーカス時に長押しで、**MF アシスト**の設定切り換え（📖 58）
• 再生時にピントを合わせた位置を拡大表示（📖 31）

インジケーターランプ

インジケーターランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。

インジケーターランプ	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	手ブレ警告、AF 警告、AE 警告です（撮影できます）。
緑と橙色の交互点滅	メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できます）。
橙色点灯	メモリーカードに画像を記録しています（撮影できません）。
橙色点滅	フラッシュ充電中です（フラッシュは発光しません）。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。

画面にも、警告表示が表示されます（144）。

画面の表示

撮影時および再生時には、画面に次の情報が表示されます。

① 説明のため情報はすべて表示しています。

静止画撮影時

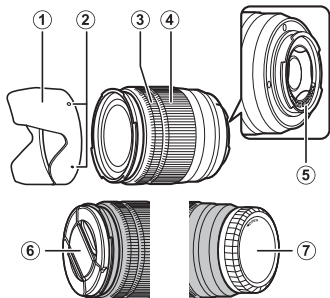
① フラッシュ 36
② マクロ（近距離）..... 38
③ セルフタイマー..... 65
④ 連写モード 66
⑤ 測光モード 64
⑥ ホワイトバランス..... 53
⑦ フィルムシミュレーション..... 69
⑧ ダイナミックレンジ..... 81
⑨ 撮影可能枚数 148
⑩ 画像サイズ・画質モード...80、81
⑪ 温度警告 147
⑫ 手ブレ警告 ..... 13、139、144
⑬ ブレ防止 84
⑭ 位置情報取得状態.....107
⑮ 日付書き込み 100
⑯ マナーモード .....11、97
⑰ 距離指標バー 58
⑱ バッテリー残量表示..... 25
⑲ ISO 感度..... 55
⑳ モニター晴天モード..... 11
㉑ AF 警告..... 13、139、144
㉒ 露出補正値 63
㉓ 絞り値.....48、50、51
㉔ シャッタースピード...48、49、51
㉕ 撮影モード 42
㉖ マニュアルフォーカス..... 58
㉗ 露出補正バー／
露出インジケーター.....51、63
㉘ ヒストグラム 28
㉙ AF フレーム.....30、61

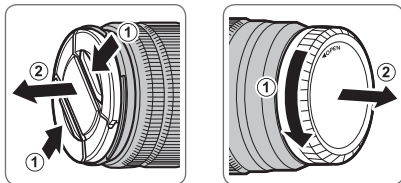
再生時

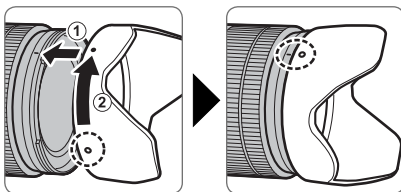
① お気に入り 31
② 顔キレイナビ 85
③ 赤目補正 91
④ 美肌モード 47
⑤ アドバンストフィルター 45
⑥ プレゼント 31
⑦ コマ NO. 99
⑧ マナーモード ....11、97
⑨ ダイナミックレンジ.................. 81
⑩ 再生モード 31
⑪ 日付・時刻 26
⑫ アップロード先設定.................. 93
⑬ フォトブックアシスト.............. 77
⑭ プリント予約 121
⑮ プロテクト 90

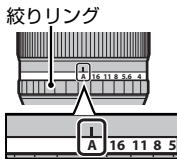
レンズについて

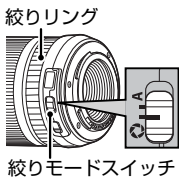
このカメラでは、富士フイルム製の FUJIFILM X マウント対応の交換レンズが使用できます。

レンズの各部名称

① レンズフード
② 取り付け指標
③ フォーカスリング
④ ズームリング
⑤ レンズ信号接点
⑥ レンズフロントキャップ
⑦ レンズリアキャップ

レンズキャップの取り外し方

レンズフードの取り付け方

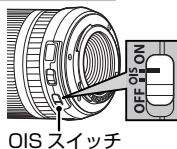
レンズフードを取り付けると、画像に悪影響を及ぼす光線をカットし、レンズ面の保護にも役立ちます。

絞りリング付きレンズについて

レンズで絞りを **A** 以外に設定しているときは、レンズの絞りリングで絞りを調整できます（**A**（絞り優先）または **M**（マニュアル）モードとき）。

絞りモードスイッチがあるレンズの場合

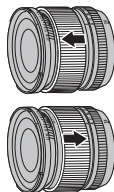
絞りモードスイッチがあるレンズでは、絞りモードスイッチを ✿ の位置に設定すると、レンズの絞りリングで絞りを調整できます。

① 絞りを **A** に設定しているときは、サブコマンドダイヤルで絞りを調整します。

✎ メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの操作方法は 📖 149 をご覧ください。

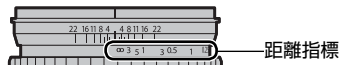
手ブレ補正スイッチ付きのレンズについて

レンズに手ブレ補正のスイッチ（OIS スイッチ）がある場合は、OIS スイッチを **ON** の位置に合わせると、手ブレ補正機能が使用できます。

フォーカスリングの移動により MF 撮影が可能なレンズについて

・**AF** 時は、フォーカスリングをフロント側にセットしてください。

・**MF** 時は、フォーカスリングをリア側にセットしてください。

ライブビューで画像を確認しながらフォーカスリングを回し、ピントを調整してください。
距離指標と被写界深度目盛を活用した目測による **MF** 撮影も容易に行えます。

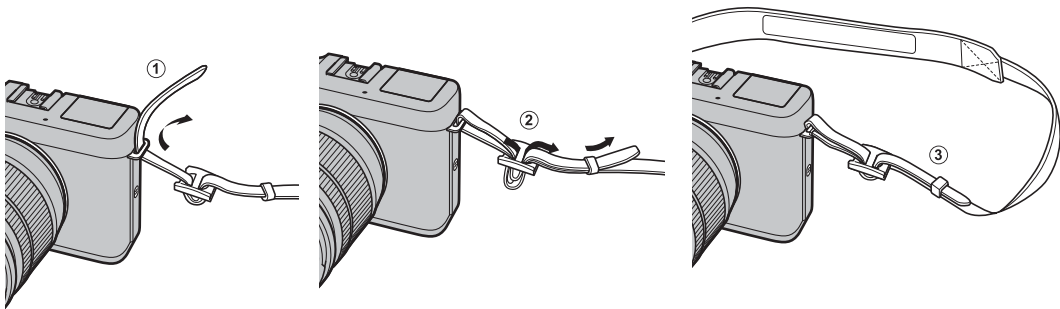
被写界深度目盛

絞り値によるピントの合う範囲の目安は、被写界深度目盛で確認できます。

① 本レンズを装着し **MF** に設定すると、カメラの画面に「距離指標」は表示されません。

① フォーカスリングをリア側（**MF**）に移動しても、撮影モードによっては、**MF** 撮影できない場合があります。

はじめに

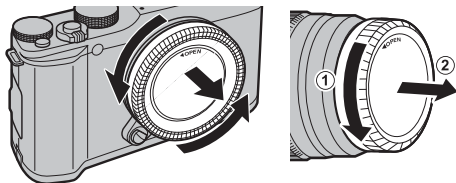
ストラップを取り付ける

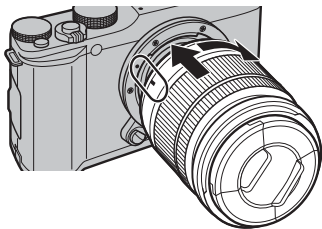
ショルダーストラップは、次のようにカメラのストラップ取り付け部（2 箇所）に取り付けます。

! ストラップの取り付け方を間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。

レンズを取り付ける

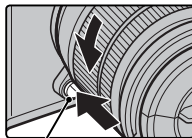
カメラにレンズを取り付けます。

① レンズを取り付けるときは、ゴミやほこりの付着に注意してください。

1 カメラのボディキャップとレンズのリアキャップを外します。

① カメラ内部には触れないでください。

2 カメラとレンズの指標に合わせてレンズを回し、カメラに取り付けます。

①「カチッ」とはまるまで、レンズを回してください。
① レンズを取り付けるときは、レンズ着脱ボタンを押さないでください。

レンズを取り外すときは

カメラの電源をオフにしてからレンズ着脱ボタンを押して矢印の方向にレンズを回してください。

① レンズを取り外してカメラを保管するときは、ゴミやほこりの付着を防ぐためにボディキャップとレンズキャップを取り付けて下さい。

別売アクセサリーについて

このカメラでは、富士フイルム製の FUJIFILM X マウント対応の交換レンズやアクセサリーが使用できます (📖 125)。

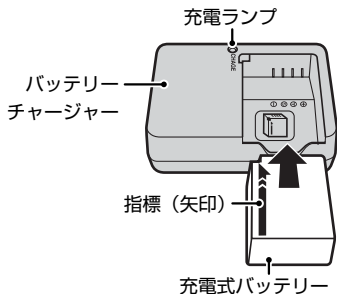
撮影の準備

バッテリーを充電する

ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前に付属のバッテリーチャージャーでバッテリーを充電してください。

- お客様がお使いのバッテリーは NP-W126 です。
- 充電時間については、📖 156 をご確認ください。

1 バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付けます。

図のように、指標（矢印）の位置がバッテリーチャージャー内部のイラストと合うように確認してください。

ⓘ 付属の AC コードは、バッテリーチャージャー BC-W126 専用です。この組み合わせ以外では使用しないでください。

2 電源プラグを屋内のコンセントに差し込みます。

充電ランプが点灯して、充電を開始します。

充電ランプの表示

充電ランプの表示により、バッテリーの状態を確認できます。

充電ランプ	バッテリーの状態	対処
消灯	バッテリー未装着	充電するバッテリーを装着してください
	フル充電（充電終了）	バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください
点灯	充電中	—
点滅	バッテリー異常	電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください

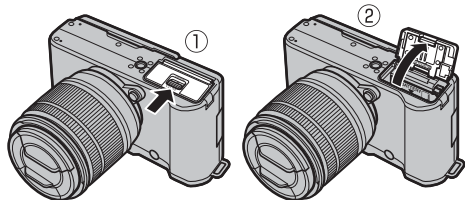
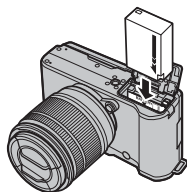
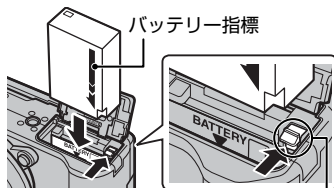
3 充電が終了すると、充電ランプは消灯します。

- ! 同梱されている充電器は 100 ～ 240V まで対応しており、海外でもご使用頂けます。変換プラグアダプターが必要な場合がありますので、あらかじめ旅行代理店などにお問い合わせください。
- ! 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- ! バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- ! バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- ! バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」(📖 127) を参照してください。
- ! 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- ! 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- ! バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前（1 ～ 2 日前）には、バッテリーを充電してください。
- ! 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- ! バッテリーチャージャーを使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ! 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- ! 低温時は充電時間が長くなることがあります。

バッテリーとメモリーカードを入れる

バッテリーを充電したら、カメラにバッテリーとメモリーカードを入れます。撮影した画像は、市販の SD/SDHC/SDXC メモリーカードに記録します。

⚠ このカメラには内蔵メモリーはありません。

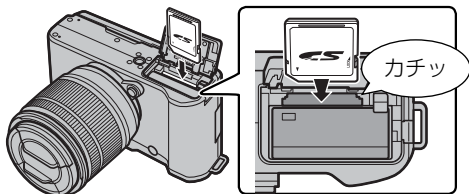
1 バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを開けます。

2 バッテリーを入れます。

- 図のように、金色の端子を下にして、指標（矢印）の位置がカメラ内部のイラストと合うように確認してください。

- バッテリー取り外しつまみをバッテリーで押すようにして、バッテリーを入れます。
- バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。

⚠ カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーカバーを開けないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。

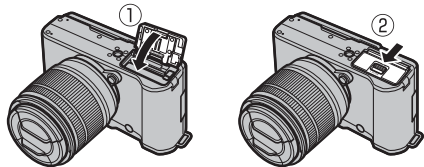
⚠ バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。

⚠ バッテリーの向きを間違えると、カメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。

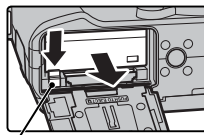
3 メモリーカードを入れます。

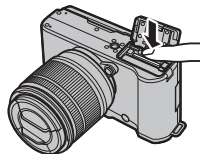
図のように正しい向きで「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。

⚠ メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。

4 バッテリーカバーを閉めます。

バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを閉めてください。

⚠ バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。

バッテリーを取り出すときは

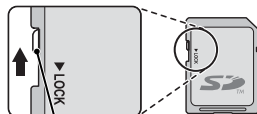
カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。

メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開けます。メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を戻すと、ロックが外れて取り出せます。

⚠ メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。

使用可能なメモリーカード

- このカメラでは、弊社および SanDisk 社製の SD/SDHC/SDXC メモリーカードの使用をおすすめします。
- HD 動画を撮影するときは、CLASS⑩ 以上のメモリーカードをご使用ください。
- 今後の対応メモリーカードについては、富士フイルムのホームページに掲載しています。詳しくは http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html を参照してください。その他のメモリーカードについては、動作保証しておりません。また、xD- ピクチャーカード、マルチメディアカードには対応していません。

① **メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。**

① メモリーカードをカメラで記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。

書き込み禁止スイッチ

① 未使用のメモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマット (📖 102) してからご使用ください。

① メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

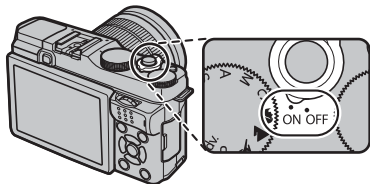
① 外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フイルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

① メモリーカードにラベルなどをはらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。

① メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。

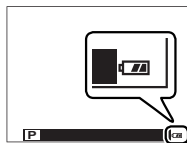
① カメラでメモリーカードをフォーマットすると、画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。画像のファイル名を変更すると、カメラでの再生時に支障をきたす場合があります。

電源をオンにする / オフにする

電源レバーを **ON** に合わせると、電源がオンになります。**OFF** に合わせると、電源がオフになります。

- 撮影中に ▶（再生）ボタンを押すと、再生モードになります。
- 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
- 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。**消費電力設定**の**自動電源 OFF**（📖 99）では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。自動的にカメラの電源がオフになった場合、シャッターボタンの半押しまたは電源レバーを **OFF** にしてから再度 **ON** にすると、撮影モードでオンになります。
- このカメラには起動時間を短縮する機能があります（📖 99）。

① レンズに指紋が付かないようにご注意ください。撮影画像の画質低下の原因になります。

バッテリー残量の表示

液晶モニターの表示で、バッテリー残量を確認できます。

表示	意味
（白点灯）	バッテリーの残量は十分にあります。
（白点灯）	バッテリーの残量は約半分以下です。
（赤点灯）	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
（赤点滅）	バッテリー残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを交換してください。

撮影の準備

初期設定を行う

ご購入後初めて電源をオンにしたときは、使用する言語と日時が設定されていません。次の手順で使用する言語や日時などの初期設定を行います。

✎ 言語や日時の設定をやり直したい場合は、「セットアップメニューの使い方」(📖 95)で、**日時設定**または**言語/LANG.**を選んだあとに、以下の手順で設定できます。

1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。

2 使用する言語を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

3 年月日の並び順を設定します。

▲▼ で年月日の並び順を選びます。

4 年、月、日、時、分を設定します。

- ◀▶ で設定する項目（年、月、日、時、分）を選択できます。
- ▲▼ で設定する数字を変更できます。

5 **MENU/OK** ボタンを押します。

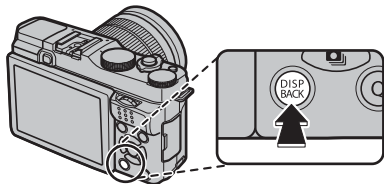
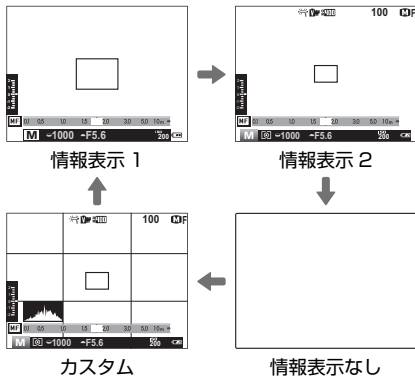
設定が終了して、撮影を開始できます。

✎ バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

設定のスキップ

DISP/BACK ボタンを押して、設定をスキップできます。スキップした設定は、次にカメラを起動したときに、再度、設定画面が表示されます。

情報表示について

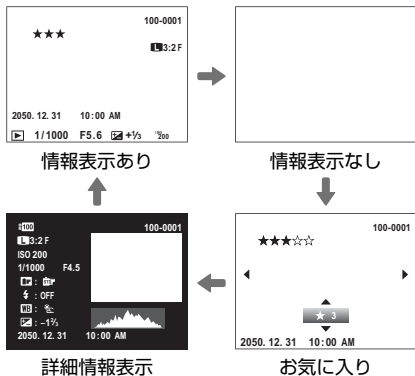
撮影モードまたは再生モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り換わります。

撮影時

- 撮影モードが **P**、**S**、**A**、**M** 以外のときや **フォーカスモード**を **自動追尾**に設定しているときは、「情報表示 2」は選べません。

「カスタム」表示について

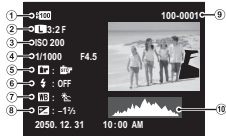
「カスタム」表示時に表示したい項目は、撮影メニューの **画面のカスタマイズ**（83）で選択できます。画面に表示できる項目は以下のとおりです。

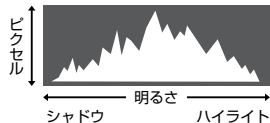
- フレーミングガイド
- AF 時の距離指標
- MF 時の距離指標
- ヒストグラム
- 絞り / シャッター速度 /ISO
- 露出補正バー / 露出インジケーター
- 測光
- フラッシュ
- ホワイトバランス
- フィルムシミュレーション
- ダイナミックレンジ
- 撮影可能枚数
- 画像サイズ & 画質モード
- バッテリー残量表示

- 表示される場所は 14 をご覧ください。
- 画面のカスタマイズを行ったあとに、**DISP/BACK** ボタンを何度か押して、「カスタム」表示にしてください。

再生時

詳細情報表示について

① ダイナミックレンジ
② 画像サイズ / 画質モード
③ 感度
④ シャッタースピード / 絞り値
⑤ フィルムシミュレーション
⑥ フラッシュ
⑦ ホワイトバランス
⑧ 露出補正値
⑨ コマ NO.
⑩ ヒストグラム

① 露出オーバーで白とびした箇所は、黒く点滅して表示されます。

ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ（横軸：明るさ / 縦軸：ピクセル数）に表したものです。

適正露出の場合：全体的にピクセルの数が多く、山なりに分布します。

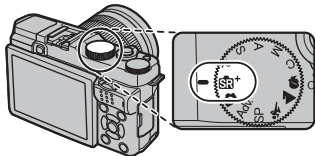
露出オーバーの場合：ハイライトのピクセル数が多く、右に偏ります。

露出アンダーの場合：シャドウのピクセル数が多く、左に偏ります。

① 被写体によってグラフ形状は異なります。

静止画を撮影する

ここでは、撮影の基本的な流れを説明します。

1 モードダイヤルを SR+ に合わせると、**アドバンスト SR オート**の撮影画面が表示されます（📖 43）。

シーンアイコン
カメラが認識した最適なシーンのシーンアイコンが表示されます。

アイコン
カメラが最適なシーンを認識するため、人物を常に検出し続けることを表すアイコンです。

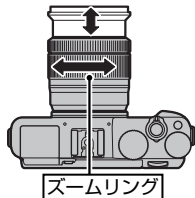
- **アドバンスト SR オート**（SR+）で撮影するときは、常にピント合わせを続けるためレンズの駆動音がします。また、バッテリーの消耗が早くなりますので、残量にご注意ください（📖 25）。
- **Q** ボタンを押すと、撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます（📖 41）。

2 カメラを構えます。

- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。

- レンズや AF 補助光ランプに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。

3 構図を決めます。

ズームリングがあるレンズを使用している場合
ズームリングを回して構図を調整します。広い範囲を写したいときは左方向、被写体を大きく写したいときは右方向に、ズームリングを回してください。

4 被写体を中央にしてシャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。

ピントが合ったとき

ピピッと音が鳴り、AF フレームが緑色に点灯します。

ピントが合わないとき

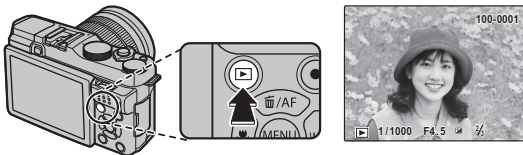
AF フレームが赤色に変わり、**!AF** が画面に表示されます。

- 暗い被写体のピントを合わせやすくするために AF 補助光（📖 85）が発光する場合があります。
- シャッターボタンを半押ししている間、ピントと露出は固定されます。
- 被写体との距離が近すぎる場合は、ピント合わせができません。この場合は、🌷（マクロ）ボタンでマクロモードに設定して、撮影してください（📖 38）。
  マクロモードを設定する距離の目安はレンズによって異なります。詳しくはご使用のレンズの使用説明書をご覧ください。

5 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます（全押しします）。

静止画を再生する

1 コマ再生

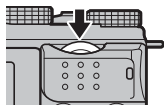
▶ ボタンを押すと、撮影した画像が表示（1 コマ再生）されます。

1 つ前の画像を見るには ◀ を押します。次の画像を見るは ▶ を押します。ボタンを押し続けると、早送りします 。

- メインコマンドダイヤルを回しても前後の画像を表示できます。
- 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに 🎁（プレゼントアイコン）が表示されます。

★ お気に入りを設定する

1 コマ再生時に **DISP/BACK** ボタンを押すと、**★ お気に入り** のランクが表示され、ランクを設定できます。▲ または ▼ で ★ の数（0 ～ 5）を設定します。

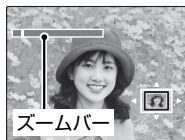
ピントの位置を拡大表示する

サブコマンドダイヤルの中央を押すと、ピントを合わせた位置を拡大できます。もう一度サブコマンドダイヤルの中央を押すと、1 コマ再生に戻ります。

再生ズーム

1 コマ再生時にサブコマンドダイヤルを右に回すと、画像を拡大表示できます。

✎ 1 コマ再生画面でサブコマンドダイヤルを左に回すと、「マルチ再生」の 2 コマ画面になります（📖 33）。

右に回すと拡大

左に回すと縮小

拡大表示中に ▲▼◀▶ で、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。

再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押すか、サブコマンドダイヤルの中央を押します。

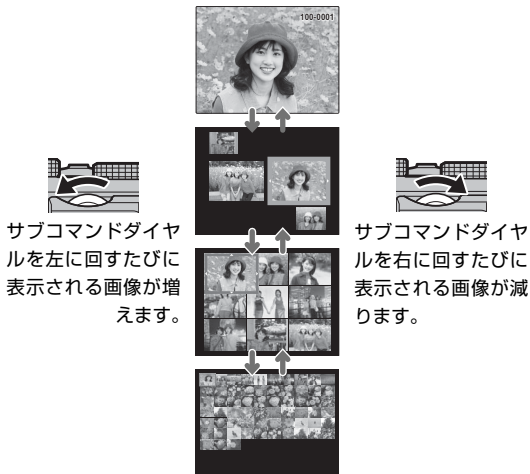
✎ 最大ズーム倍率は、設定した **画像サイズ**（📖 80）によって変わります。

✎ **リサイズ**（📖 90）または **トリミング**（📖 89）の 640 で保存された画像は、再生ズームは使えません。

マルチ再生

再生時に、1 コマ、2 コマ、9 コマ、100 コマ（マイクロサムネイル）の一覧を表示して画像を比較したり、見たい画像を選んだりすることができます。

サブコマンドダイヤルを左に回すたびに表示される画像が増えます。

サブコマンドダイヤルを右に回すたびに表示される画像が減ります。

◆ 1 コマ再生画面でサブコマンドダイヤルを右に回すと拡大画像が表示されます（📖 32）。

- ▲▼◀▶ で画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を 1 コマ表示します。
- 9 コマ再生または 100 コマ再生では、▲ または ▼ でページを切り換えられます。

画像を消去する

画像を 1 コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。**誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。**

1 コマ再生中に 🗑（▲）ボタンを押して、消去方法を選びます。

✎ プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください (📖 90)。

✎ 再生メニューの 🗑 **消去**でも、画像を消去できます。

1 コマ消去

画像を 1 コマだけ消去します。

1 1 コマ再生中に 🗑（▲）ボタンを押して、**1** コマを選びます。

2 消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

✎ **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。

✎ **MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を ◀ または ▶ で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。

複数指定消去

☑ が表示されている画像をまとめて消去できます。

✎ プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、❗ が表示されます。

1 1 コマ再生中に 🗑（▲）ボタンを押して、**複数指定**を選びます。

2 消去する画像を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、選択されます。

- 選択された画像は ☑ が表示されます。
- もう一度、**MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

3 まとめて消去する画像を選択指定した後、**DISP/BACK** ボタンを押します。

消去実行画面が表示されます。

4 **実行**を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。

全コマ消去

画像がすべて消去されます。

1 1 コマ再生中に 🗑（▲）ボタンを押して、**全コマ**を選びます。

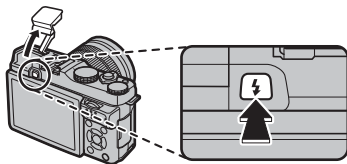
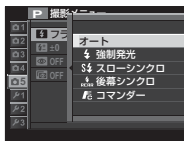
2 **実行**を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。

✎ **DISP/BACK** ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。

✎ プリント予約を設定している画像を消去しようとすると、メッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、その画像を消去します。

フラッシュ撮影する

夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。

1 フラッシュポップアップボタンを押して、フラッシュをポップアップします。

2 撮影メニューの ⚡ フラッシュモードからフラッシュ設定を選びます。

フラッシュ	説明
オート（表示なし）	カメラが暗いと判断したときにフラッシュが発光します。
⚡ 強制発光	周囲の明るさにかかわらず、フラッシュが発光します。
S⚡ スローシンクロ	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。明るい場所では露出オーバーになることがあります。
⚡REAR 後幕シンクロ	シャッターを閉じる直前にフラッシュが発光します。
コマンダー	スレーブ対応の外部フラッシュを同調させます。

① ご使用の交換レンズや撮影距離によっては、フラッシュのケラレが発生することがあります。

① ホットシューにアクセサリーを取り付けた状態でフラッシュポップアップボタンを押すと、フラッシュがアクセサリーに触れる場合がありますので十分にご注意ください。

- フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に ⚡ が表示されます。
- フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します（コマンダーモードを除く）。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。

フラッシュ発光禁止

フラッシュを閉じると発光禁止になります。

被写体が暗いときでも、フラッシュは発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。

別売フラッシュについて

このカメラでは、富士フイルム製のクリップオンフラッシュが使用できます（📖 125）。

顔キレイナビと赤目補正が ON のときのフラッシュ設定について

顔キレイナビ（📖 85）と **赤目補正**（📖 87）を **ON** にした場合、フラッシュ発光時には必ず赤目軽減を行います。そのため、フラッシュは、AUTO（赤目軽減オートフラッシュ）、（赤目軽減＋強制発光フラッシュ）、SLOW（赤目軽減＋スローシンクロ）、REAR（赤目軽減＋後幕シンクロ）から設定できます。

AUTO（赤目軽減オートフラッシュ）は、人物を撮影するのに適しています。暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る「赤目現象」を軽減します。

フラッシュ使用時のシャッタースピードについて

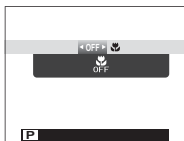
フラッシュ撮影したときのシャッタースピード同調速度は 1/180 秒以下です。

他社製のフラッシュをお使いなるときのご注意

カメラのホットシューに 300V 以上の電圧がかかるフラッシュは使用できません。

近距離撮影する（マクロ）

近距離撮影するときは、マクロモードを使用します。

🌷（◀）ボタンを押します。

マクロのオンまたは、オフを選びます。

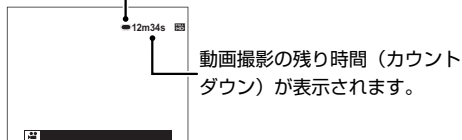
マクロ	説明
🌷	マクロ撮影をオンにします。
OFF	マクロ撮影をオフに（解除）します。

◆ 被写体との距離が近すぎる場合は、ピント合わせができません。マクロモードに設定して、撮影してください（📖 38）。マクロモードを設定する距離の目安はレンズによって異なります。詳しくはご使用のレンズの使用説明書をご覧ください。

ハイビジョン動画を撮影する

音声付きの動画を撮影できます。

1 ⦿（動画撮影）ボタンを押すと、動画撮影が開始されます。

撮影中は、⬬ が表示されます。

- 動画撮影中もズームリングでズーム操作が行えます（📖29）。

2 もう一度 ⦿（動画撮影）ボタンを押すと、撮影が終了します。

残り時間がなくなるか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

① 動画の記録中は背面のインジケーターランプが点灯します。

- 動画の画像サイズは、**動画設定**の**動画モード**で変更できます（📖 86）。
- 動画撮影時のピント合わせの方法は **動画設定**の**フォーカスモード**で設定します（📖 86）。

① 撮影した動画の色と明るさが、撮影前の画面表示と異なることがあります。

① 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようご注意ください。

① 動画撮影中は、カメラの動作音が録音されることがあります。

① 高輝度の被写体を撮影すると、縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。

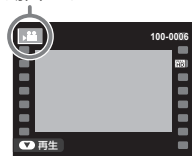
背景ボケを生かした動画について

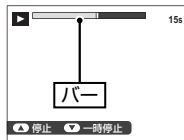
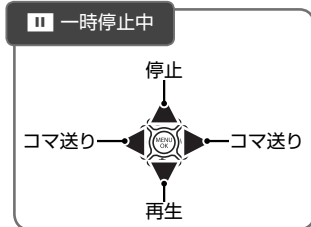
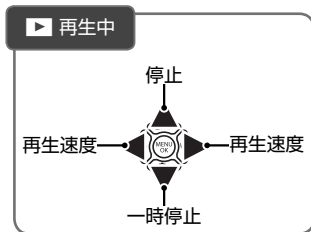
絞りをできるだけ開放側に設定することでボケを生かした動画を撮影できます。

撮影モードを **A**（絞り優先）または **M**（マニュアル）に設定し、絞り値を調整します。絞り値の設定は動画撮影前に行ってください。

① 絞り値が赤色で表示されているときは、適切な明るさ（露出）ではありませんが撮影できます。

動画を再生する

画像の再生時に動画を選択すると、🎥 が表示されます。

動画再生時の操作方法について

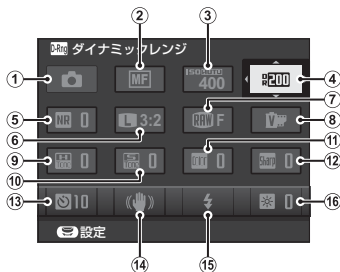
動画再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。

- 再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。▲ または ▼ を押して動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。動画の再生音量は、**♪ 音設定の再生音量**（📖 97）でも設定できます
- ① スピーカーを指などでふさがないでください。音が聞き取りにくくなります。
- ① マナーモード（📖 11）の場合は音声が再生されません。

動画の再生速度について

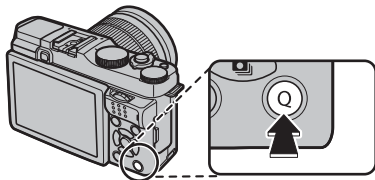
◀ または ▶ を押して、再生速度を変更できます。再生速度は再生アイコンの ▶（◀）の数で表示されます。▶（◀）の数が多いほど速度が速くなります。

Qボタン Q（クイックメニュー）ボタンの使い方

Q ボタンを使う

Q ボタンを使うと、撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます。

	メニュー項目	📖
①	撮影モード	42
②	フォーカスモード	57
③	感度	55
④	ダイナミックレンジ	81
⑤	ノイズリダクション	82
⑥	画像サイズ	80
⑦	画質モード	81
⑧	フィルムシミュレーション	69

	メニュー項目	📖
⑨	ハイライトトーン	82
⑩	シャドウトーン	82
⑪	カラー	82
⑫	シャープネス	82
⑬	セルフタイマー	65
⑭	ブレ防止モード	84
⑮	フラッシュモード	36
⑯	モニター明るさ	98

1 撮影画面で Q ボタンを押します。
クイックメニューが表示されます。

2 設定を変更するメニュー項目を ▲▼◀▶ で選びます。

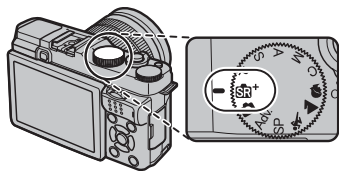
3 メインコマンドダイヤルまたはサブコマンドダイヤルで設定値を選びます。

✎ 各メニューの設定値は、参照ページ先でご確認ください。

4 Q ボタンを押します。
表示されている設定値になり、撮影画面に戻ります。

応用撮影 いろいろな撮影と再生

モードダイヤルで撮影モードを変更したい

撮影モードを切り換えることで、状況（シーン）に適した設定を行うことができます。モードを切り換えるには、モードダイヤルを回して、使用するモードアイコンを指標に合わせます。

■ P（プログラム）
プログラムシフトができるオートモードです（📖 48）。

■ S（シャッタースピード優先）、A（絞り優先）、M（マニュアル）
シャッタースピードや絞り値を自分で設定して撮影できます（📖 49、50、51）。

■ SR+（アドバンスト SR オート）
カメラが撮影シーンに合わせて、自動で最適な撮影モードを設定して撮影できます（📖 43）。

■ C（カスタム）
P、**S**、**A**、**M** モードの撮影設定をあらかじめ保存しておき、その設定を読み出せます（📖 52）。

■ 📷（オート）
シャッタースピードや露出をカメラが自動的に設定します。（📖 43）。

■ Adv.（アドバンストモード）
高度なテクニックが必要な写真を簡単に撮影できます（📖 44）。

■ SP（シーンポジション）/ 🏃 / ▲ / 👤
いろいろな撮影シーンに合わせて、カメラの設定を最適な状態にするシーンポジションを選択できます（📖 47）。

SR+（アドバンスト SR オート）

シーンに最適な撮影モードをカメラが自動的に認識して撮影します。
モードダイヤルを SR+ に合わせると、撮影画面が表示されます。

カメラが認識した最適なシーンのシーンアイコンが表示されます。

■ **シーンアイコン**

カメラが認識した最適なシーンのシーンアイコンが表示されます。

- **AUTO**：**AUTO**
- ：**風景**
- ：**夜景**
- ：**夜景（三脚）**
- ：**マクロ**
- ：**ビーチ**
- ：**夕焼け**
- ：**スノー**
- ：**青空**
- ：**緑**
- ：**青空＆緑**
- ：**人物**
- ：**逆光＆人物**
- ：**動体**
- ：**人物＆動き**
- ：**逆光人物＆動き**

① シーンによっては認識されたシーンが実際と異なる場合があります。また、撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンとして認識される場合があります。認識されたシーンが実際と異なる場合は、撮影モードを （オート）にするか、**SP** にして適切なシーンポジションを選択してください（47）。

（オート）

カメラまかせの簡単操作できれいな写真を撮影できます。ほとんどの状況に適しています。

モードダイヤルを に合わせると、撮影画面が表示されます。

SR+（アドバンスト SR オート）と （オート）の違い

- **（オート）**：シャッタースピードや露出をカメラが自動的に設定します。
- **SR+（アドバンスト SR オート）**：シャッタースピードや露出に加え、人物、風景、夜景、マクロ、夜景＆人物、逆光などのシーンを自動で認識し、最適な撮影条件に設定します。シーン認識のために常時、レンズが動きますので、レンズの音が気になるときや消費電力を抑えたいときは にしてください。

Adv.（アドバンストモード）

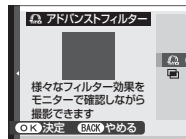
高度なテクニックが必要な写真を簡単に撮影できます。

✎ **Adv.**モードでは、露出補正（📖 63）とプログラムシフトの設定（📖 48）が可能です。

1 モードダイヤルを **Adv.** に合わせます。

2 **Adv.** モードの説明画面が表示されている間に **MENU/OK** ボタンを押します。

✎ 撮影画面が表示された場合は、**MENU/OK** ボタンを押して撮影メニューを開き、**Adv. モード**を選ぶと、モード選択画面を表示できます（📖 79）。

3 ▲▼ で **Adv.** モードを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

Adv. モード	📖
アドバンストフィルター	45
多重露出	46

アドバンストフィルター

さまざまなフィルター効果を加えた写真が撮影できます。

1 モードダイヤルを **Adv.** に合わせ、アドバンストフィルターを選びます（📖 44）。

2 ▲▼ で使用するアドバンストフィルターを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

以下のフィルター効果を選べます。

アドバンストフィルター	効果
トイカメラ	レトロな雰囲気のあるトイカメラ風な写真に仕上がります。
ミニチュア	ジオラマ風に上下をぼかします。
ポップカラー	コントラストと彩度を強調します。
ハイキー	全体の階調表現を明るくし、コントラストを抑えます。
ローキー	全体を暗く落ち着かせつつ、ハイライト部を強調します。
ダイナミックトーン	ダイナミックな階調表現で、幻想的な効果を加えます。
ソフトフォーカス	全体にぼかしを加え柔らかな雰囲気を与えます。
パートカラー（レッド）	特定の色域（カッコ内の色）だけを残し、残りをモノクロにします。
パートカラー(オレンジ)	
パートカラー(イエロー)	
パートカラー(グリーン)	
パートカラー（ブルー）	
パートカラー(パープル)	

◆ 被写体やカメラの設定によっては、画像が粗くなったり意図したような明るさや色みにならない場合があります。

多重露出

2 枚の画像を重ねて 1 つの画像に合成します。

1 モードダイヤルを **Adv.** に合わせ、**多重露出**を選びます（📖 44）。

多重露出の撮影画面になります。

2 1 枚目の画像を撮影します。

3 **MENU/OK** を押します。

2 枚目の撮影画面が表示されます。

- 1 枚目の画像を撮り直す場合は ◀ を押してください。
- **DISP/BACK** を押すと、1 枚目の画像が保存され、多重露出撮影を終了します。

4 2 枚目の画像を撮影します。

- 1 枚目の画像が撮影画面にうすく表示されているので、その画像を見ながら 2 枚目の画像の位置を調整してください。

5 **MENU/OK** を押します。

2 枚の画像を合成した画像が保存されます。

- 2 枚目の画像を撮り直す場合は ◀ を押してください。

SP（シーンポジション）/ / /

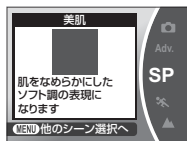
いろいろな撮影シーンに合わせて、カメラの設定を最適な状態にするシーンポジションが用意されています。

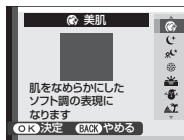
1 モードダイヤルを SP に合わせます。

/ / モードで撮影する場合

モードダイヤルをそれぞれのアイコンに合わせてください。

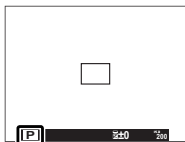
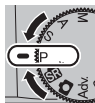
シーン	機能
スポーツ	動いている被写体の撮影に適しています。
風景	昼間の風景撮影に適しています。
人物	人物の撮影に適しています。

2 SP モードの説明画面が表示されている間に **MENU/OK** ボタンを押します。

撮影画面が表示された場合は、**MENU/OK** ボタンを押して撮影メニューを開き、 **シーン選択**を選ぶと、モード選択画面を表示できます（ 79）。

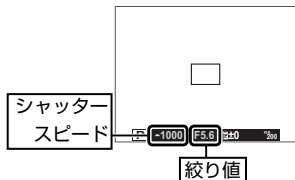
3 ▲▼ でシーンを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

シーン	機能
美肌	肌をなめらかに撮影します。
夜景	夕景や夜景の撮影に適しています。
夜景（三脚）	スローシャッターでの夜景撮影に適しています。
花火	スローシャッターで打ち上げ花火を色鮮やかに撮影します。
夕焼け	夕焼けを赤く鮮やかに撮影します。
スノー	白く輝く雪景色での撮影に適しています。
ビーチ	日差しの強い浜辺での撮影に適しています。
パーティー	室内での結婚式やパーティーの撮影で使用します。
花の接写	花に近づいて撮影するときに使用します。
TEXT 文字の撮影	書類やホワイトボードなどを撮影するときに使用します。

P（プログラム）

カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。プログラムシフトで同じ露出値のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることもできます。

モードダイヤルを **P** に合わせると、表示画面に **P** が表示されます。

① 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードおよび絞り値が「---」と表示されます。

プログラムシフトの設定

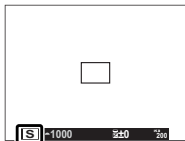
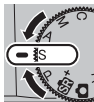
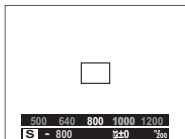
サブコマンドダイヤルを回すと、同じ露出のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることができます。

- プログラムシフトが設定されているときは、シャッタースピードと絞り値が黄色で表示されます。
- 電源をオフにすると、設定したプログラムシフトは解除されます。

① 次のとき、プログラムシフトは使用できません。
- TTL 自動調光機能付き外部フラッシュを使用しているとき
- 撮影メニューの D-Rng **ダイナミックレンジ**が **AUTO** のとき（📖 81）
- ISO **感度**が **AUTO** のとき（📖 55）

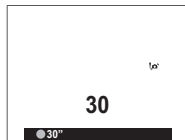
- メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの操作方法は 📖 149 をご覧ください。

S（シャッタースピード優先）

設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定します。

1 モードダイヤルを **S** に合わせます。
表示画面に **S** が表示されます。

2 サブコマンドダイヤルを回して、シャッタースピードを設定します。

- ⓘ 設定したシャッタースピードで適正な明るさにならないときは、絞り値が赤色で表示されます。
- ⓘ 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、絞り値が「---」と表示されます。

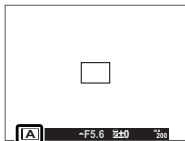
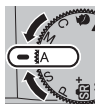
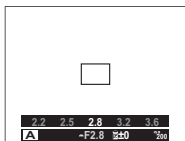
タイム撮影

シャッタースピードを 1 秒以上に設定すると、タイム撮影になります。

- カメラが動くとピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。
- 撮影中は、露光時間がカウントダウンで表示されます。
- 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**長秒時ノイズ低減**を**ON**（📖 82）にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。
- 別売のリモートレリーズ **RR-90** を使用すると、長時間露光撮影時に便利です。

- メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの操作方法は 📖 149 をご覧ください。

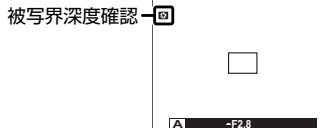
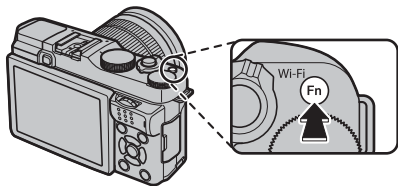
A（絞り優先）

設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定します。

1 モードダイヤルを **A** に合わせます。
表示画面に **A** が表示されます。

2 サブコマンドダイヤルを回して、絞り値を設定します。

① 設定した絞り値で適正な明るさにならないときは、シャッタースピードが赤色で表示されます。

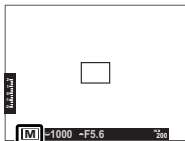
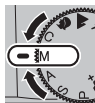
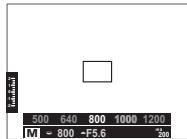
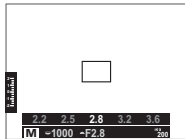
① 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードが「---」と表示されます。

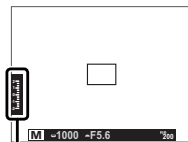
被写界深度を確認するには

被写界深度を確認するには、撮影メニューの **Fn ファンクション（Fn）設定**を **被写界深度確認**に設定します（📖 73)。設定後 **Fn**（ファンクション）ボタンを押すと、そのときの絞り値の被写界深度が確認できます。

◆ メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの操作方法は 📖 149 をご覧ください。

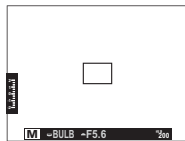
M（マニュアル）

マニュアルでは、シャッタースピードや絞り値も撮影者が設定できます。意図的に「オーバー（明るい）」または「アンダー（暗い）」の露出を設定できるので、個性的で多彩な表現が可能になります。

1 モードダイヤルを **M** に合わせます。
表示画面に **M** が表示されます。

2 メインコマンドダイヤルを回してシャッタースピードを設定し、サブコマンドダイヤルを回して絞り値を設定します。

シャッタースピード

絞り値

- マニュアルでは、常に露出インジケーターが表示されます。

露出インジケーター

バルブ撮影

メインコマンドダイヤルを回して、シャッタースピードを **BULB** に設定すると、バルブ撮影になります。

- カメラが動くとピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。
- 撮影中は、経過時間が表示されます。
- 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**長秒時ノイズ低減**を**ON**（82）にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。
- 別売のリモートレリーズ **RR-90** を使用すると、長時間露光撮影時に便利です。

- メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの操作方法は 149 をご覧ください。

C（カスタム）

P、**S**、**A**、**M** モードの撮影設定をあらかじめ保存しておき、その設定を呼び出せます。設定は、撮影メニューの **カスタム保存**で保存します。

モードダイヤルを **C** に合わせると、保存した設定を呼び出せます。

カスタムモードの保存について

カスタム保存で保存できる撮影条件は次のとおりです。

■ **撮影メニュー**

- **感度**
- **画像サイズ**
- **画質モード**
- **ダイナミックレンジ**
- **フィルムシミュレーション**
- **カラー**
- **シャープネス**
- **ハイライトトーン**
- **シャドウトーン**
- **ノイズリダクション**
- **測光**
- **顔キレイナビ**
- **フォーカスモード**
- **AF 補助光**
- **フラッシュモード**
- **フラッシュ調光補正**
- **動画設定（動画モード / フォーカスモード）**

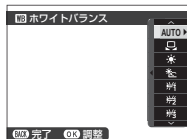
■ **その他（ボタン）**

- **ホワイトバランス（WB）**
- **連写モード（）**
- **マクロモード（）**
- **露出設定**
- **画面切り換え（DISP/BACK）**

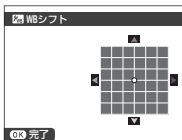
ホワイトバランスを変更したい

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

1 ▶（**WB**）ボタンを押します

ホワイトバランスの設定画面が表示されます。

2 ▲▼ でホワイトバランスを選びます。

- **MENU/OK** を押すと、**WB シフト**画面が表示され、シフト量を調整できます。▲▼◀▶ でホワイトバランスのシフト量を調整します。

- **DISP/BACK** を押すと、シフト量を調整しないでホワイトバランスが設定されます。

■ ホワイトバランスの設定

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、**AUTO** をおすすめします。
(カスタム)	白い紙などを使って、自分でホワイトバランスを測定します（📖 54）。
(晴天)	晴天の屋外での撮影用です。
(日陰)	曇天や日陰などでの撮影用です。
(蛍光灯1)	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
(蛍光灯2)	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
(蛍光灯3)	白色蛍光灯の下での撮影用です。
(電球)	電球、白熱灯の下での撮影用です。

- 人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO** の設定で望んだような結果が得られないときは、光源にあったホワイトバランスを選ぶかカスタムホワイトバランスをお使いください。
- フラッシュ発光時は、**AUTO** 設定時のみフラッシュ用のホワイトバランスになります。光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください（📖 36）。

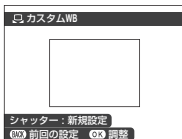
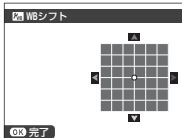
■ カスタムホワイトバランスを設定する

自分でホワイトバランスを設定します。あらかじめ白い紙などの被写体をご用意ください。

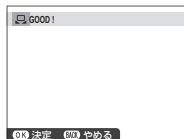
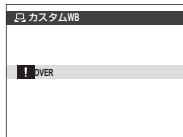
メモ：カスタムホワイトバランスの活用例

白い紙の代わりに、色のついたものを使用すると、それを白の基準にするため、色味を意図的に変更することができます。

1 ホワイトバランスの設定画面から を選びます。

2 白い紙などの被写体を画面いっぱいに表示します。

- **MENU/OK** ボタンを押すと、ホワイトバランスシフト量を調整できます。

3 シャッターボタンを全押しして設定します。

- 前回取得したホワイトバランスを使用するには、シャッターボタンの代わりに **DISP/BACK** ボタンを押します。

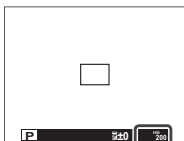
4 「**GOOD!**」と表示されたら、**MENU/OK** ボタンを押して決定します。

「**OVER**」または「**UNDER**」と表示された場合は、ホワイトバランスを正しく測定できていません。

「**OVER**」と表示されたときは－（マイナス）側に、「**UNDER**」と表示されたときは＋（プラス）側に露出補正（63）してから、再度測定してください。

ISO 感度を変更したい

光に対する感度を **100** ～ **25600** の間で変更できます。

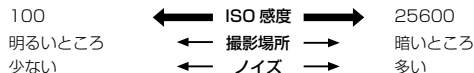
1 **MENU/OK** ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。

2 ▲▼ で ISO 感度を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
ISO 設定画面が表示されます。

3 ▲▼ で設定値を選び、**MENU/OK** を押します。
ISO 感度が設定されます。

設定	説明
AUTO	被写体の明るさに応じて感度が自動的に設定されます（📖 56）。
6400 ～ **200**	設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。
H (25600) **H (12800)** **L (100)**	拡張感度を設定できます。標準感度よりもダイナミックレンジが狭くなったり、ノイズが多くなったりする場合があります。

- 拡張感度を選択できる条件は、「各撮影モードで使用できる機能について」を参照してください（📖 150）。
- 感度は、カメラの電源をオフにしても保持されます。
- 拡張感度（**L (100)**）のときに、画質モード（📖 81）を **RAW**、**FINE＋RAW**、**NORMAL＋RAW** に設定すると、感度は自動的に **200** になります。
- 拡張感度（**H (12800)**）、（**H (25600)**）のときに、画質モード（📖 81）を **RAW**、**FINE＋RAW**、**NORMAL＋RAW** に設定すると、感度は自動的に **6400** になります。

ISO 感度の設定について

感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて感度設定を使い分けてください。

■ AUTO 設定について

AUTO を選ぶと、以下の項目が設定できます。

設定	工場出荷値
基準 ISO 感度	200
上限 ISO 感度	800
低速シャッター限界	1/60

基準 ISO 感度と**上限 ISO 感度**を設定すると、その範囲内で最適な露出になるようにカメラが自動的に ISO 感度を設定します。また、**低速シャッター限界**では、ISO 感度が自動で切り換わるシャッタースピードの低速側の限界値を設定できます。

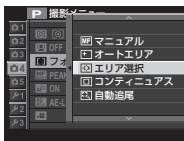
- **上限 ISO 感度**よりも**基準 ISO 感度**を高く設定している場合は、**上限 ISO 感度**で設定されている ISO 感度で撮影されます。
- **基準 ISO 感度**と**上限 ISO 感度**の範囲内でも最適な露出が得られない場合は、**低速シャッター限界**で設定したシャッタースピードよりも遅くなる場合があります。

ピントに関する設定を変更したい

ピント合わせの方法を変更（フォーカスモード）

ピント合わせの方法を変更できます。

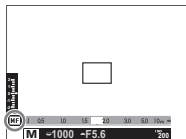
1 **MENU/OK** ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。

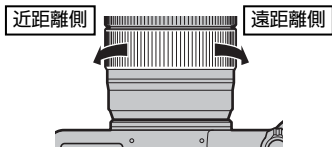
2 ▲▼ で フォーカスモードを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
フォーカスモードの設定画面が表示されます。

3 ▲▼ でフォーカスモードを選び、**MENU/OK** を押します。

設定	説明
MF マニュアル	ピントを手動で合わせたいときに使用します。オートフォーカスの苦手な被写体（📖62）を撮影するときや意図的にピントをずらしたいときなどに使用します。
オートエリア	シャッターボタンを半押しすると、画面内にあるコントラストが高い被写体にピントを合わせます。
エリア選択	ピントを合わせるエリアを手動で選択します（📖60）。
コンティニュアス	シャッターボタンを押さなくても常にピントを合わせ続けるため、動きのある被写体の撮影に適しています。バッテリーの消耗が大きくなるため、バッテリー残量にご注意ください。
自動追尾	被写体の動きに合わせて枠が移動しピントを合わせ続けます。被写体に画面中央の枠を合わせ、◀ を押すと、自動追尾を開始します。

■ MF（マニュアルフォーカス）での撮影方法

1 **フォーカスモードで MF マニュアルを選びます。**

画面に MF が表示されます。

2 **フォーカスリングを回してピントを合わせます。**

フォーカスリングを時計回りに回すと遠距離側に、反時計回りに回すと近距離側にピントが合います。

✎ フォーカスリングを回す方向は、セットアップメニューの **フォーカスリング**（98）で設定できます。

3 **撮影します。**

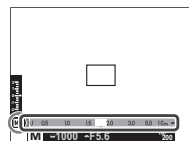
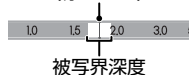
✎ レンズでマニュアルフォーカスを設定できる交換レンズをご使用の場合は、**フォーカスモード**を MF **マニュアル**以外に設定していてもマニュアルフォーカスで撮影できます。

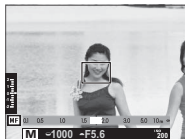
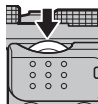
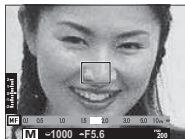
ピントの確認方法

・**ピーキングで確認する**

MF アシストを**フォーカスピーキング**（85）に設定すると、コントラストの高い輪郭部分が強調されます。フォーカスリングを回して、撮影したい被写体が強調されるように調整してください。

・**距離指標を目安にする**

赤いバーはピントの中心値を、白いバーは被写界深度を示します。距離指標の単位は、セットアップメニューの **距離指標の単位**（100）でメートルとフィートを切り換えられます。

拡大表示してピントを確認する（フォーカスチェック）

マニュアルフォーカス時にサブコマンドダイヤルの中央を押すと拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。拡大表示する位置は、▲（**AF**）ボタンを押して、▲▼◀▶ で変更できます。

通常表示　　拡大表示

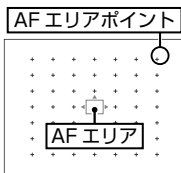
マニュアルフォーカス時に Fn ボタンを使う（📖 73）

- **Fn** ボタンに**ワンプッシュ AF** を割り当てた場合は、**Fn** ボタンを押すと、フォーカスフレーム内の被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。素早くピントを合わせたいときに便利です。
- **Fn** ボタンに **AE+AF LOCK** を割り当てた場合は、**Fn** ボタンを押すと、AE ロックします。

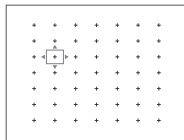
ピント合わせのエリアを変更（AF エリア選択）

フォーカスモードで **エリア選択**を選択している場合は ▲（**AF**）ボタンを押すと、ピント合わせのエリアを変更できます。

▲（**AF**）ボタンを押すと、AF エリア選択の設定画面が表示されます。

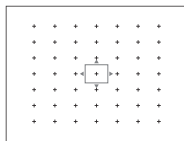
AF エリアポイント（+）と AF エリアが表示されます。

① AF エリア選択時は、**顔キレイナビ**（📖 85）を **OFF** にしてください。

■ AF エリアの選択 / 移動

▲▼◀▶ で、ピントを合わせたい位置に AF エリアを移動します。

✎ **DISP/BACK** ボタンを押すと、AF エリアが中央に戻ります。
✎ **MENU/OK** ボタンを押すと、AF エリアの位置が設定されます。

■ AF エリアの拡大 / 縮小

サブコマンドダイヤルを回すと、AF エリアのサイズが選べます。

左に回すとサイズが小さく（最小 50%）、右に回すとサイズが大きく（最大 150%）なります。サブコマンドダイヤルの中央を押すと、100% に戻ります。

✎ **MENU/OK** ボタンを押すと、サイズが設定されます。

AE/AF ロック撮影したい

静止画撮影時にシャッターボタンを半押しすると、ピントと明るさが決まります。そのまま半押しを続けて、ピントを固定することを「AF ロック」、明るさを決めて固定することを「AE ロック」といいます。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したいときに便利です。

1 ピントを合わせたい被写体に AF フレームを合わせます。

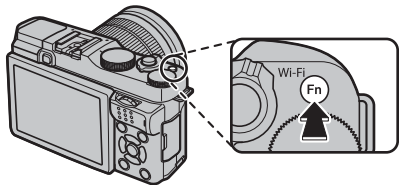
2 シャッターボタンを半押しします。
被写体にピントと露出が合い、AF フレームが緑点灯します。

◆ シャッターをきる前なら、AE/AF ロックは何度でもやり直せます。

3 半押ししたまま構図を変えます。
被写体との距離は変えないでください。

4 そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。

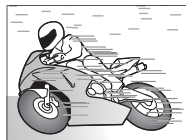
Fn ボタンを使う

Fn ボタンに **AE+AF LOCK** を割り当てているときに（📖 73）**Fn** ボタンを押しても、AE/AF ロックできます。

- **Fn** ボタンで AE/AF ロックしたときは、シャッターボタンを半押ししてもロックは解除されません。
- 撮影メニューの **AE/AF-LOCK 機能選択**（📖 86）で **Fn** ボタンの機能を次のように設定できます。

設定	説明
AE LOCK のみ（初期設定）	露出が固定（AE ロック）されます。
AF LOCK のみ	ピントが固定（AF ロック）されます。
AE+AF LOCK	ピントと露出の両方が固定されます。

オートフォーカスの苦手な被写体について

このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

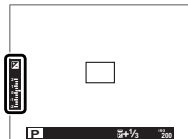
鏡や車のボディなど光沢のあるもの

高速で移動する被写体

その他のオートフォーカスの苦手な被写体：

- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの（背景と同色の服を着ている人物など）
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合（コントラストの強い背景の前の被写体など）

露出を補正したい

メインコマンドダイヤルを回すと、画像の明るさを調整できます。

露出補正バー

＋補正（右に回す）
（暗い画像を明るくします）

−補正（左に回す）
（明るい画像を暗くします）

露出補正の目安

- **逆光の人物撮影：**
  +⅔EV 〜 +1⅔EV

- **スキー場などの反射が強く明るい場所：**+1 EV

- **画像の大部分を空が占める場合：**+1 EV
- **スポットライトを浴びた被写体、特に背景が暗い場合：**
  −⅔EV
- **常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合：**−⅔EV

EV とは

露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムや画像素子などの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することにより画像素子に与える光量を一定にしています。画像素子に与えられる光量が 2 倍になると EV 値は＋ 1、半分になると EV 値は− 1 変化します。

明るさの測定方法を変更したい（測光モード）

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。

1 **MENU/OK** ボタンを押します。

撮影メニューが表示されます。

2 ▲▼ で 測光を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

測光モードの設定画面が表示されます。

3 ▲▼ で測光モードの設定値を選び、**MENU/OK** を押します。

① 測光モードを変更するときは、**顔キレイナビ**（📖 85）を **OFF** にしてください。

設定	説明
（マルチ）	被写体の輝度分布や色、背景や構図などの情報を瞬時にカメラが判断し、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、（マルチ）をおすすめします。
（スポット）	画面中央部約 2% 部分の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。
（アベレージ）	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

セルフタイマーを使って撮影したい

このカメラは、撮影者を含めた集合写真に適した「10秒後撮影」と、シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐ「2 秒後撮影」の 2 種類のセルフタイマーを搭載しています。セルフタイマーは、すべての撮影モードで使えます。

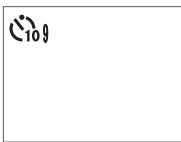
1 撮影画面で **MENU/OK** を押します。
撮影メニューが表示されます。

2 ▲▼ で ⏲ セルフタイマーを選び、**MENU/OK** を押します。
セルフタイマーの設定画面が表示されます。

⏲2：2 秒後撮影
⏲10：10 秒後撮影
OFF：セルフタイマー OFF

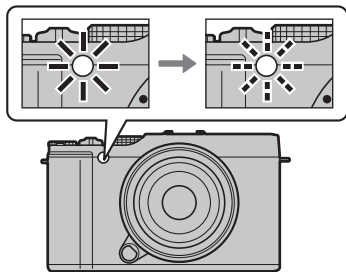
3 ▲▼ でセルフタイマーを設定します。

4 **MENU/OK** を押します。
セルフタイマーが設定されます。

シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーが開始します。画面には、シャッターが切れるまでの秒数が表示されます。

タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

① シャッターボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかったり、適正な明るさにならないことがあります。

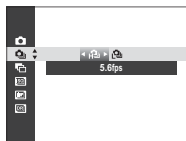
① セルフタイマー設定は、電源をオフにすると自動的に解除されます。

✎ ⏲10（10 秒後撮影）では、カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。⏲2（2 秒後撮影）では、セルフタイマー開始と同時に点滅します。

連写画像を撮影したい

連続撮影（連写）

動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。

1 ▼（連写）ボタンを押します。
連写選択画面が表示されます。

2 ▲▼ で連写を選びます。
連写設定画面が表示されます。

：1 秒間に約 5.6 コマ撮影
：1 秒間に約 3 コマ撮影

3 ◀▶ で連写コマ数を選びます。

4 MENU/OK を押します。
連写が設定されます。

5 構図を決めてピントを合わせます。

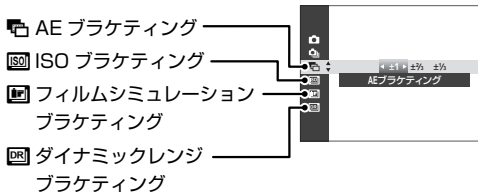
6 シャッターボタンを押します。
シャッターボタンを押し続けている間、各連写設定に応じたコマ数で連続撮影します。

- 連写中にファイル No. が 999 を超えると、次のフォルダにまたがって記録されます（99）。
- 連写中にメモリーカードの容量が不足すると、記録可能枚数分まで記録されます。ただし、連写モードによっては、空き容量がないときは撮影できない場合があります。
- 連写枚数が増えると、連写速度が遅くなる場合があります。
- ピントや露出は 1 コマ目を撮影したときに決定され、途中で変えられません。
- シャッタースピードにより連写速度は変わります。
- フラッシュは使用できません。ただし、通常に撮影すると、連写前に使用していたフラッシュ設定に戻ります。
- 連続撮影では、撮影したファイルを記録する時間が長くなることがあります。

ブラケティング撮影

一度シャッターボタンを押すと、それぞれの設定値を変えながら複数枚連続で撮影するブラケティング撮影ができます。ブラケティングは、▼（連写）ボタンを押して表示される連写選択画面から選択します。

1 ▼（連写）ボタンを押します。
連写選択画面が表示されます。

2 ▲▼ で使用したいブラケティングの種類を選びます（68）。

3 設定値を選べるブラケティングの場合、◀▶ で設定を選びます。
設定値がない場合、手順 4 に進みます。

4 **MENU/OK** を押します。
ブラケティングの種類と設定が決定されます。

5 構図を決めてピントを合わせます。

6 シャッターボタンを押します。

AE ブラケティング

一度シャッターボタンを押すと、画像の明るさ（露出）を「適正」、「オーバー（明るい）」、「アンダー（暗い）」の順に変えながら、3 コマ連続で撮影します。

設定	説明
± 1	露出を 1EV ずつ変更しながら撮影します。
± ⅔	露出を ⅔EV ずつ変更しながら撮影します。
± ⅓	露出を ⅓EV ずつ変更しながら撮影します。

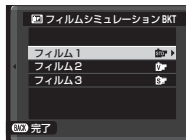
① アンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えるときは、設定した設定値きざみで撮影されません。

ISO ブラケティング

撮影した 1 枚の画像から、ISO 感度（📖 55）を変化させて 3 枚の画像を作成します。ISO 感度の変化する段階は、設定感度 ISO200 ～ 6400 までの間で 1/3 段ずつステップ幅を変更できます。

設定	説明
± 1	ステップを 1 段に設定します。
± ⅔	ステップを 2/3 段に設定します。
± ⅓	ステップを 1/3 段に設定します。

フィルムシミュレーションブラケティング

撮影した 1 枚の画像から、フィルムシミュレーション（📖 69）の設定を **フィルムシミュレーションBKT** で選んだ設定（📖 81）に変化させて 3 枚の画像を作成します。

ダイナミックレンジブラケティング

一度シャッターボタンを押すと、ダイナミックレンジ（📖 81）の設定を「100%」、「200%」、「400%」の順に変えながら、3 コマ連続で撮影します。

◆ 感度は自動的に ISO800 以上になります。ダイナミックレンジブラケティングを解除すると、感度は元の設定に戻ります。

フィルムシミュレーションで画像を撮影したい

撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。

1 **MENU/OK ボタンを押します。**
撮影メニューが表示されます。

2 **▲▼ で フィルムシミュレーションを選択し、MENU/OK ボタンを押します。**
フィルムシミュレーション設定画面が表示されます。

3 **フィルムシミュレーションの設定値を選びます。**
フィルムシミュレーションの設定値は以下のとおりです。

設定	説明
STD PROVIA/スタンダード	標準的な発色と階調で人物、風景など幅広い被写体に適しています。
V Velvia/ビビッド	高彩度な発色とメリハリのある階調表現で、風景や花の撮影に適しています。
S ASTIA/ソフト	肌色のつながりを良くしつつ、青空も鮮やかに写るようになります。屋外のポートレートに適しています。
B モノクロ	モノトーンの表現を活かした印象的な仕上がりの撮影に適しています。
SEPIA セピア	ウォーム調の色合いであたたかみのある雰囲気の表現に適しています。

4 **MENU/OK を押します。**
フィルムシミュレーションが設定されます。

◆ フィルムシミュレーション設定時も、トーンやシャープネスなどの変更が可能です（📖 82）。

RAW 画像を撮影・現像したい

RAW 画像の撮影

RAW 画像とは、撮像素子から得られる非圧縮の生データのことです。撮影した RAW 画像は、パソコンで画像を再構成するほか、再生メニューの RAW **RAW 現像**（📖 71）でさまざまな設定を行ってからJPEGに保存（現像）できます。

RAW画像は撮影メニューの **画質モード**（📖 81）で設定します。

1 **MENU/OK** ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。

2 ▲▼ で 画質モードを選択し、**MENU/OK** ボタンを押します。
画質モードの設定画面が表示されます。

3 ▲▼ で RAW 画像を選びます。

設定	用途例
FINE+RAW	FINE で撮影したJPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
NORMAL+RAW	NORMAL で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
RAW	RAW ファイルのみを保存します。

① パソコンで RAW 画像を現像するには、パソコンに RAW FILE CONVERTER がインストールされている必要があります。付属のソフトウェアをインストールしてください（📖 112、113）。

① 画質モードが **RAW**、**FINE+RAW**、**NORMAL+RAW** のときは、拡張感度（📖 55）は設定できません。

Fn ボタンを使って RAW 画像を撮影する

撮影メニューの **画質モード**で **FINE** または **NORMAL** を選択していても、**Fn** ボタンに **RAW** を割り当てておくと（📖 73）、**Fn**ボタンを押すだけでRAW画像を撮影できます。

設定されている画質モード	Fn ボタン（RAW を割り当て済み）を押した場合
FINE	FINE+RAW
NORMAL	NORMAL+RAW
FINE+RAW	FINE
NORMAL+RAW	NORMAL
RAW	FINE

再度 **Fn** ボタンを押すか、1 コマ撮影すると、元の設定（左列）に戻ります。

RAW 画像の現像（カメラ内 RAW 現像）

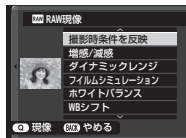
撮影した RAW ファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて JPEG ファイルとして保存（現像）できます。

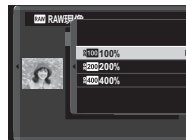
1 再生時に **MENU/OK** ボタンを押します。

再生メニューが表示されます。

2 ▲▼ で RAW **RAW 現像**を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

設定できる機能の一覧が表示されます。

4 ▲▼ で変更する項目を選びます。

5 ▶ で設定の変更に移ります。

6 ▲▼ で設定を変更します。

7 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

手順 3 の画面に戻ります。手順 7 までを繰り返して、設定したい項目をすべて変更します。

8 **Q** ボタンを押します。

保存する JPEG ファイルのプレビューが表示されます。

9 **MENU/OK** ボタンを押します。

JPEG 画像が保存されます。

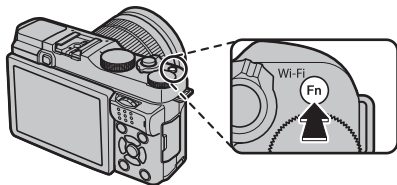
> **Q ボタン**
> RAW 画像の再生時に **Q** ボタンを押すと、RAW **RAW 現像**を表示できます。

■ RAW 現像設定項目一覧

メニュー項目	機能	設定	📖
撮影時条件を反映	撮影時の条件を一括で反映します。	—	—
増感 / 減感	画像の明るさを調整できます。	**－ 1 EV～＋ 3 EV まで ⅓ EV ステップ**	63
ダイナミックレンジ	明るい部分の白とびを防ぎ、目で見たままに近い写真を撮影できます。	DR100 / DR200 / DR400	81
フィルムシミュレーション	色調を変更できます。	STD / V / S / B / SEPIA	69
ホワイトバランス	ホワイトバランスを変更できます。	AUTO / ☐ / ☀ / ⛅ / 蛍1 / 蛍2 / 蛍3 / 電球	53
WB シフト	ホワイトバランスを調整します。	**－ 9～＋ 9**	53
カラー	撮影画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは**濃い**に、薄くしたいときは**薄い**に設定します。	**濃い / やや濃い / 標準 / やや薄い / 薄い**	82
シャープネス	撮影画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。	**HARD/M-HARD/STD/ M-SOFT/SOFT**	82
ハイライトトーン	画像のハイライト部の調子を調整します。	**HARD/M-HARD/STD/ M-SOFT/SOFT**	82
シャドウトーン	画像のシャドウ部の調子を調整します。	**HARD/M-HARD/STD/ M-SOFT/SOFT**	82
ノイズリダクション	高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。	**強 / やや強 /STD/ やや弱 / 弱**	82

ファンクション（Fn）ボタンに機能を割り当てたい

Fn ボタン設定

Fn（ファンクション）ボタンには機能を 1 つ割り当てられます。**Fn** ボタンを押すだけで機能を切り換えたり、設定画面を呼び出したりできます。

Fn ボタンの割り当ては、撮影メニューの **Fn ファンクション（Fn）設定**で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- 被写界深度確認（📖 50）
- ISO 感度（📖 55）
- セルフタイマー（📖 65）
- 画像サイズ（📖 80）
- 画質モード（📖 81）
- ダイナミックレンジ（📖 81）
- フィルムシミュレーション（📖 69）
- 測光（📖 64）
- AE+AF LOCK（📖 62）
- ワンプッシュ AF（📖 59）
- フォーカスモード（📖 57）
- 顔キレイナビ（📖 85）
- 位置情報サーチ（📖 101）
- 動画モード（📖 86）
- RAW（📖 70）

✎ **Fn Fn ボタン設定**画面は **Fn** ボタンを長押ししても呼び出せます。

M マウントレンズで撮影したい

マウントアダプター設定

別売の M マウントアダプター「**FUJIFILM M MOUNT ADAPTER**」を使用すると M マウントレンズで撮影できます。

マウントアダプターのファンクションボタンを押すと、**マウントアダプター設定**メニューが表示されます。

- **レンズなしレリーズ**が **ON** になり、スタンダード表示時の距離指標バーが非表示になります。
- フォーカスチェックを行うときは、**フォーカスモード**を **マニュアル**に設定してください（57）。

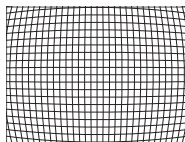
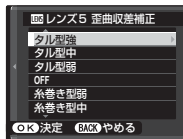
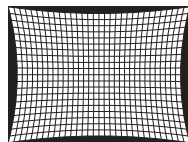
焦点距離設定

ご使用のレンズの焦点距離が **21**mm、**24**mm、**28**mm、**35**mmのいずれかの場合は、**マウントアダプター設定**の**レンズ 1** ～ **4** からご使用のレンズの焦点距離を選んでください。

21mm、**24**mm、**28**mm、**35**mm 以外のレンズをご使用になる場合は**レンズ 5** または**レンズ 6** を選び、▶ を押して焦点距離設定メニューを表示させ、ご使用になるレンズの実焦点距離を ▲▼◀▶ で設定してください。

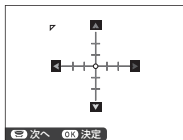
歪曲収差補正

画像の周辺部が歪んでしまう「歪曲収差」を補正できます。

「タル型」と「糸巻き型」の補正を、それぞれ「強」「中」「弱」の 3 段階で補正できます。

タル型

糸巻き型

- 歪曲収差補正を効果的に行うためには、方眼紙やビルの窓などの複数の方形画像を撮影し、その画像で最適化してください。

色シェーディング補正

画像中央部と周辺部の色の違いなど（シェーディング）を画像の四隅それぞれ個別に補正できます。

■ 補正方法

1 サブコマンドダイヤルを回して、補正場所（画面の四隅）を選びます。三角マークで表示される隅をそれぞれ補正できます。

2 ▲▼◀▶ で補正値（色・量）を設定します。画像中央部と周辺部の色の差がなくなるように調整してください。

- **レッド / シアン（横軸方向）**：**–9** ～ **+9** の範囲でレッドとシアンの縁取りを補正します。
- **ブルー / イエロー（縦軸方向）**：**–9** ～ **+9** の範囲でブルーとイエローの縁取りを補正します。

✎ 色シェーディング補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。

周辺光量補正

画像の周辺光量を補正できます。

補正量は、**–5** ～ **+5** までと **0**（ゼロ）の計 11 段階から選べます。

プラス側に補正すると周辺光量が上がり、オールドレンズでの補正に有効です。マイナス側に補正すると周辺光量が下がり、古いレンズやピンホールカメラで撮影したような効果が得られます。

✎ 周辺光量補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。

画像を検索したい

ピクチャーサーチで画像を検索できます。

ピクチャーサーチ

1 再生メニューから **ピクチャーサーチ**を選びます。

2 検索条件を選びます。
以下の条件から選びます。

検索条件	内容
日付で検索	指定した撮影日の画像を表示します。
顔で検索	指定した顔の情報の画像を表示します。
★お気に入りで検索	指定した ★ **お気に入り**ランクの画像を表示します（31）。
画像タイプで検索	静止画 / 動画 /RAW のタイプ別に表示します。
アップロード先で検索	アップロード先を選んで画像を表示します。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

4 検索条件を絞り込みます。
絞り込む条件を選ぶと、条件に合った画像だけが表示されます。

サーチ画面を表示した状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、サーチ画像に対する再生メニューが表示され、各操作を実行できます。操作方法は参照ページをご覧ください。

メニュー	
消去	89
プロテクト	90
スライドショー	92

フォトブックを作成したい

フォトブックアシストでフォトブックを作成できます。

フォトブックアシスト

1 再生メニューから 📖 フォトブックアシストを選びます。

2 新規 BOOK を選び、**MENU/OK** を押します。

フォトブックの新規作成画面が表示されます。

3 フォトブックを作成する画像の選択方法を選びます。

全画像から選択：保存されているすべての画像から1 枚ずつ選択できます。

サーチして選択：指定した条件で検索した画像から選択できます（📖 76）。

✎ 640 以下で保存されている画像と動画は選択できません。

4 画像を選択します。

▲ で表示されている画像を選択または選択解除します。

▼ で表示されている画像を表紙にします。

✎ 最初に選択した画像は、自動的に表紙と 1 枚目の画像になります。表紙は、後から ▼ で変更することもできます。

5 画像の選択が終わったら、**MENU/OK** ボタンを押します。

6 **作成終了**を選びます。

✎ **全て選択**を選ぶと、全画像またはサーチ結果のすべての画像が、フォトブック作成中の画像として選択されます。

7 **MENU/OK** を押します。

フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。

① フォトブックで選択できる画像は 300 枚までです。

① 画像が 1 枚も選択されていないフォトブックは削除されます。

作成したフォトブックについて

- 作成したフォトブックは、付属のソフトウェア「MyFinePix Studio」でも、パソコンに取り込んで使うことができます。
- カメラで作成したフォトブックは、対応する店頭でカンタンに注文することができます。詳しくは下記ホームページをご覧下さい。
  http://fujifilm.jp/personal/print/index.html

作成したフォトブックを見る

作成されているフォトブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。

◀ または ▶ で次や前の画像に移動できます。

作成したフォトブックを編集 / 削除する

1 作成したフォトブックを表示しているときに **MENU/OK** を押します。

2 編集または削除を選びます。

編集：フォトブックの内容を再編集できます。編集方法はフォトブックを作成する方法と同じです（📖 77）。

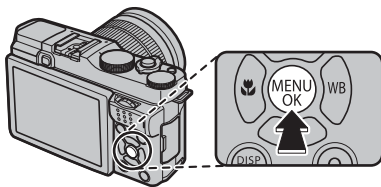
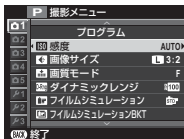
削除：表示されているフォトブックを削除できます。

3 画面の指示にしたがって、フォトブックを編集 / 削除します。

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

撮影時に使う機能を設定できます。

撮影メニューの使い方

1 **MENU/OK** ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。

2 ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。

3 ▶ で設定の変更に移ります。

4 ▲ または ▼ で設定を変更します。

5 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

6 **DISP/BACK** ボタンを押して、撮影画面に戻ります。

撮影メニュー一覧

メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。

シーン選択

モードダイヤルが **SP** のときに、好きなシーンポジションを選んで、モードダイヤルに割り当てることができます（📖 47）。

Adv. モード

モードダイヤルが **Adv.** のときに、高度なテクニックが必要な写真を簡単に撮影できます（📖 44）。

感度

光に対する感度を変更できます（📖 55）。

画像サイズ

記録する画像の大きさを変更できます。現在の設定で撮影可能な枚数（📖 148）が、画面のピクセルアイコンの右側に表示されます。

画像サイズは、カメラの電源をオフにしても撮影モードを切り換えても保持されます。

設定	用途例
L 3:2/L 16:9/L 1:1	A3、四切（254mm×305mm）、四切 W サイズ程度で印刷する場合に適しています。
M 3:2/M 16:9/M 1:1	六切（203mm×255mm）、A4 サイズ程度で印刷する場合に適しています。
S 3:2/S 16:9/S 1:1	DSC（89mm×119mm）、L（89mm×127mm）、A6 サイズ程度で印刷する場合に適しています。

画像の縦横比について

画像の縦横比によって撮影できる範囲が異なります。用途に合わせて縦横比を選択してください。

設定	説明
3:2	画像の縦横比がフィルムやポストカードと同じ 3:2 になります。
16:9	画像の縦横比が 16:9 になり、ハイビジョンテレビでの再生に適しています。
1:1	正方形の比率です。

画質モード

用途に合わせて記録画像の圧縮率を変更できます。

設定	用途例
FINE	圧縮率が低いため画質を優先するモードです。
NORMAL	圧縮率が高いため撮影枚数を優先するモードです。
FINE+RAW	FINE で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
NORMAL+RAW	NORMAL で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
RAW	RAW ファイルのみを保存します。

D-Rng ダイナミックレンジ

撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。広いダイナミックレンジでの撮影は、明暗差の強い建物、コントラストの高い被写体（光と波、強い光と紅葉、青空での人物撮影など）、白い被写体（建物、動物、白い服でのポートレート撮影など）などのシーンに効果的です。選んだダイナミックレンジの広さで撮影します。

設定		おすすめ用途
AUTO（自動調整）	**100%**	曇天や室内では、コントラストのある画像が撮影できます。
	200%	⇕
	400%	コントラストの強いシーンでの、白とびや黒つぶれを抑えます。

ダイナミックレンジが広くなるほど、画像にノイズが増えます。状況に応じてダイナミックレンジ設定を使い分けてください。

- ダイナミックレンジが **AUTO** のときは、シャッターボタンを半押しすると、絞りとシャッタースピードが表示されます。
- **200%**は感度が ISO400 以上、**400%**は ISO800 以上のときに設定できます。

フィルムシミュレーション

撮影する画像の発色や階調を変更できます（69）。

フィルムシミュレーション BKT

フィルムシミュレーションブラケティングで撮影するフィルムシミュレーションの設定を変更できます（68）。

セルフタイマー

セルフタイマーを使用できます（65）。

Color カラー

画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは**濃い**に、薄くしたいときは**薄い**に設定します。

設定：**(+2) 濃い** /**(+1) やや濃い /(0) 標準 /(-1) やや薄い /(-2) 薄い**

Sharp シャープネス

画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。輪郭を強調したいときは**ハード**に、ソフトにしたいときは**ソフト**に設定します。

設定：**(+2) ハード** /**(+1) ミディアムハード /(0) スタンダード /(-1) ミディアムソフト /(-2) ソフト**

ハイライトトーン

画像のハイライト部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。ハイライト部の調子を硬くしたいときは**ハード**に、軟らかくしたいときは**ソフト**に設定します。

設定：**(+2) ハード** /**(+1) ミディアムハード /(0) スタンダード /(-1) ミディアムソフト /(-2) ソフト**

シャドウトーン

画像のシャドウ部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。シャドウ部の調子を硬くしたいときは**ハード**に、軟らかくしたいときは**ソフト**に設定します。

設定：**(+2) ハード** /**(+1) ミディアムハード /(0) スタンダード /(-1) ミディアムソフト /(-2) ソフト**

NR ノイズリダクション

高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。よりノイズを低減してなめらかにしたいときは**強**に、画像の輪郭を残したいときは**弱**に設定します。

設定：**(+2) 強** /**(+1) やや強 /(0) スタンダード /(-1) やや弱 /(-2) 弱**

長秒時ノイズ低減

ON にすると、長時間露光撮影時のノイズを低減できます（📖 49、51）。

設定：**ON**/**OFF**

カスタム保存

撮影モードの **P**、**S**、**A**、**M** モードの撮影設定を保存します（📖 52）。

Fn ファンクション（Fn）設定

Fn（ファンクション）ボタンに割り当てる機能を設定できます（📖 73）。

画面のカスタマイズ

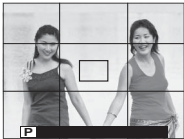
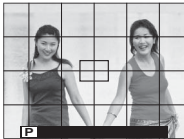
液晶モニターに表示する情報を設定します。

1 撮影メニューで 画面のカスタマイズを選びます。

2 表示したい項目を選び、MENU/OK ボタンを押します。

画面に表示する項目は、☑ が表示されます。☑ が表示されている状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

フレーミングガイド*	絞り / シャッター速度 /ISO	ホワイトバランス	画像サイズ & 画質モード
AF 時の距離指標	露出補正バー	フィルムシミュレーション	バッテリー残量表示
MF 時の距離指標	測光	ダイナミックレンジ	
ヒストグラム	フラッシュ	撮影可能枚数	

* フレーミングガイドの種類を選択できます。

3 各項目を設定し、DISP/BACK ボタンを押します。

設定が保存されます。

表示される場所は 📖 14 をご覧ください。

フレーミングガイド

撮影時のフレーミングガイドの種類を設定できます。

設定	方眼 9 分割	方眼 24 分割	HD フレーミング
説明	縦横にガイド線が表示されます（9 コマ）。	縦横にガイド線が表示されます（24コマ）。	画面が 16:9 になるようなガイド線が表示され、HD 画像の構図が決めやすくなります。
イメージ			

マウントアダプター設定

カメラ側に情報を送ることができないレンズを装着したときに、レンズに合わせて焦点距離をカメラに設定できます（📖 74）。

レンズなしレリーズ

レンズを未装着でシャッターボタンを押せるかどうかを設定します。

設定：**ON**/**OFF**

ブレ防止モード

手ブレや被写体ブレを軽減します。

設定	説明
常時＋動き認識	常に手ブレ軽減を行います。また、動くものを認識するとシャッタースピードを制御し、被写体ブレを軽減します。
常時	常に手ブレ軽減を行います。
撮影時＋動き認識	シャッターボタンの半押し時および撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。また、動くものを認識するとシャッタースピードを制御し、被写体ブレを軽減します。
撮影時	シャッターボタンの半押し時および撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。
OFF	ブレ軽減を使用しません。三脚使用時は OFF にすることをおすすめします。

- **感度**を **100** ～ **12800** の固定値に設定しているときは、動き認識を行いません。また、その他の設定によって動き認識の設定が無効になる場合があります。被写体の速さや明るさによっては、被写体ブレ軽減の効果が得られない場合があります。
- 手ブレ補正対応レンズ装着時のみ有効です。

測光

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します（📖 64）。

顔キレイナビ

顔キレイナビを使うと、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。人物が左右に並んでいるときなど、背景にピントが合いがちなシーンでの撮影に適しています。

設定：**ON**/**OFF**

緑色の枠

- 人物の顔の上に緑色の枠が表示されます。
- カメラが複数の顔を検出した場合、中央付近の顔の上に緑色の枠が、その他の顔の上に白い枠が表示されます。

縦位置撮影時も顔を検出できます。

① 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。

① 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。

フォーカスモード

ピント合わせの方法を変更できます（📖 57）。

MF アシスト

マニュアルフォーカス時のピント確認方法を設定します（📖 58）。

設定	説明
スタンダード	通常表示です（フォーカスピーキング機能を使用しません）。
フォーカスピーキング	コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。ピーキングのレベルは**弱**または**強**から選べます。

AF 補助光

ON にすると、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF 補助光が発光します。

AF 補助光は、暗い被写体のピントを合わせやすくするための光です。

設定：**ON**/**OFF**

マナーモードでは、AF 補助光は発光しません。

① シーンによっては、発光してもピントが合いづらいことがあります。

① マクロ撮影など、被写体に近づいた撮影では、AF 補助光の効果が十分に得られない場合があります。

① 人の目に近づけて発光させないでください。

AE/AF-LOCK 機能選択

Fn ボタンに **AE+AF LOCK** を割り当て時に、**Fn** ボタンを押したときにピントと露出のどちらを固定するかを設定できます（📖 62）。

動画設定

動画撮影に関する設定を行います。

サブメニュー	内容
動画モード	撮影する動画の画像サイズを変更できます。 設定 / 説明 **1920 × 1080 30fps**：フルハイビジョン動画 **1280 × 720 30fps**：ハイビジョン動画
フォーカスモード	動画撮影時のピント合わせの方法を変更できます。 設定 / 説明 **センター固定**：撮影開始時に、画面中央にある被写体にピントを合わせます。 **コンティニュアス**：撮影中も画面中央付近の被写体にピントを合わせ続けます。 **マニュアル**：ピントを手動で合わせたいときに使用します。 ◆ では、シャッターボタンを押していなくても、常にピントを合わせ続けるためレンズの駆動音がします。また、バッテリーの消耗が早くなりますので、残量にご注意ください。 ◆ のときに顔を認識すると、認識している顔にピントを合わせ続けます。その場合は、 アイコンが表示されます。

フラッシュモード

使用するフラッシュのモードを選べます（📖 36）。

フラッシュ調光補正

撮影目的や撮影条件に合わせて、フラッシュの発光量を変更できます。

設定：**+2**/**+1⅔**/**+1⅓**/**+1**/**+⅔**/**+⅓**/**±0**/**−⅓**/**−⅔**/**−1**/**−1⅓**/**−1⅔**/**−2**

◆ 被写体の条件や撮影距離などによって、発光量の補正効果が得られない場合があります。

赤目補正

ON にすると、暗い場所でフラッシュ撮影したときに、「赤目現象」を軽減します。

設定：**ON/OFF**

- 顔が検出できないときは、赤目補正されません。
- RAW ファイルの画像は、赤目補正できません。

補正前画像記録

ON にすると、**赤目補正**の処理前の画像も同時に記録します。

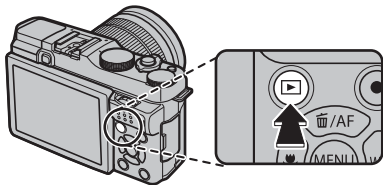
設定：**ON/OFF**

再生の設定を変える — 再生メニュー

画像の再生時に使う機能を設定できます。

再生メニューの使い方

1 ▶ ボタンを押します。

再生モードに切り替わります。

2 **MENU/OK** ボタンを押します。

再生メニューが表示されます。

3 ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。

4 ▶ で設定の変更に移ります。

5 ▲ または ▼ で設定を変更します。

6 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

7 **DISP/BACK** ボタンを押して、再生画面に戻ります。

再生メニュー一覧

消去

画像を 1 コマずつ消去したり、全コマまとめて消去できます。また、消去する画像を選択してからまとめて消去できます。

1 再生メニューで **消去**を選びます。

2 消去の方法を選びます。

- **1 コマ**： ◀ または ▶ で消去する画像を選び、表示した画像を消去します。
  - 手順 3 のあとに ◀ または ▶ で、続けて消去する画像を選べます。
- **複数指定**： 消去する画像を選択してからまとめて消去します。
  - **MENU/OK** ボタンを押すと選択され、もう一度 **MENU/OK** ボタンを押すと選択が解除されます。
  - **DISP/BACK** ボタンを押すと、消去画像の選択を終了します。
  - 選択された画像は ☑ が表示されます。
- **全コマ**： すべての画像を消去します。

3 **MENU/OK** ボタンを押して、消去を実行します。

トリミング

撮影した画像の必要な部分をトリミング（切り抜く）できます。

トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面でトリミングしたい画像を選びます。

2 再生メニューで **トリミング**を選びます。

3 サブコマンドダイヤルで必要な部分を拡大 / 縮小し、▲▼◀▶ で切り抜きたい部分を調整します。

4 **MENU/OK** ボタンを押すと、トリミング後の記録画素数が表示されます。

5 **MENU/OK** ボタンを押して、トリミングします。

- 拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。
- トリミングを行ったあとの記録画素数が 640 のときは、**実行**が黄色で表示されます。
- トリミングした画像の縦横比は、3:2 になります。

リサイズ

撮影した画像のサイズを小さくできます。

リサイズした画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面でリサイズしたい画像を選びます。

2 再生メニューで **リサイズ**を選びます。

3 変更するサイズ（M、S、640）を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

4 **MENU/OK** ボタンを押して、リサイズします。

元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

プロテクト

誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトできます。

1 再生メニューで **プロテクト**を選びます。

2 プロテクトの方法を選びます。

- **設定 / 解除**：プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクト設定されてる画像はプロテクト設定が解除されます。

  手順 3 のあとに ◀ または ▶ で、続けて設定 / 解除する画像を選べます。
- **全コマ設定**：すべての画像がプロテクトされます。
- **全コマ解除**：すべての画像のプロテクト設定を解除します。

3 **MENU/OK** ボタンを押して、プロテクトを設定 / 解除します。

4 **DISP/BACK** ボタンを押して、プロテクトを終了します。

① メモリーカードをフォーマット（📖 102）すると、プロテクトした画像も消去されます。

画像回転

画像を回転できます。

1 再生画面で回転したい画像を選びます。

2 再生メニューで **画像回転**を選びます。

3 ▼（時計回りに 90° 回転）または ▲（反時計回りに 90° 回転）で画像を回転します。

4 **MENU/OK** ボタンを押して、回転を決定します。

- プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転してください。
- 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。
- **表示設定**の**縦横自動回転再生**を **ON** にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します（98）。

赤目補正

人物の赤目を補正できます。

赤目補正した画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面で赤目を補正したい画像を選びます。

2 再生メニューで **赤目補正**を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押して、赤目補正を開始します。

- 顔が検出できないときや被写体によっては、赤目補正できなかったり、補正した結果に差が生じることがあります。
- 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- 赤目補正済みの（ が表示されている）画像は、それ以上赤目補正できません。
- RAW ファイルの画像は、赤目補正できません。

スライドショー

撮影した画像を順番に自動再生します。

- **MENU/OK** ボタン：スライドショーの開始 / 終了
- **DISP/BACK** ボタン：スライドショー終了のガイダンスが表示
- ◀ または ▶：コマ送り（マルチ以外）

設定	説明
ノーマル *[顔]*	1 コマずつ再生
ノーマル	
フェード *[顔]*	1 コマずつフェードアウトしながら再生
フェード	
マルチ	複数コマを一度に再生

* 検出した顔を拡大表示して再生します。

スライドショー中は、自動電源 OFF になりません。

フォトブックアシスト

画像を選んで、フォトブックを作成できます（77）。

アップロード先設定

画像や動画を選んで YouTube や FACEBOOK、mixi へのアップロード先を設定できます。

1. 再生メニューから **アップロード先設定**を選びます。
2. アップロード先を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
3. ◀ または ▶ でアップロード予約する画像または解除する画像を選びます。
   - アップロード予約されていない画像を選んで **MENU/OK** を押すと、予約を設定します。
   - アップロード予約されている画像を選んで **MENU/OK** を押すと、予約を解除します。
4. 手順 3 を繰り返して、必要に応じて他の画像にもアップロード予約を設定します。

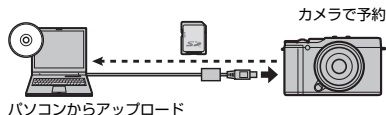
   設定を終了するには、**DISP/BACK** を押します。

全コマ解除を選ぶと、まとめてアップロード先設定を解除できます。画像の数が多いと、全コマ解除に時間がかかることがあります。操作を中止するには、**DISP/BACK** を押してください。

① アップロード予約されたファイルは、再生時に **YouTube**、**FACEBOOK**、**mixi** と表示されます。
① アップロード先が YouTube の場合、動画のみアップロードできます。
① アップロード先が mixi の場合、静止画のみアップロードできます。

Web にアップロードするには

カメラで予約した画像は MyFinePix Studio を使ってパソコンから簡単にアップロードできます。カメラとパソコンを接続する前に MyFinePix Studio をインストールしてください（📖 110）。

① この機能は Windows のみで使用できます。

ピクチャーサーチ

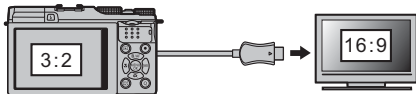
さまざまな条件で、画像を検索できます（📖 76）。

プリント予約（DPOF）

DPOF や PictBridge 対応のプリンターでプリントする画像を指定します（📖 121）。

表示比率

3:2 で撮影された静止画を HD 出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。

HDMI ケーブルでカメラと HD 出力テレビを接続したときに有効です。

設定	16:9	3:2
イメージ		

✎ **16:9** に設定すると上下が切れた状態でフル画面表示されます。**3:2** に設定すると左右に枠を付けて表示されます。

ワイヤレス送信

無線 LAN を使ってカメラからスマートフォンに画像を送信できます。また、スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧したり、送信する画像を選んでスマートフォンに取り込んだりできます（📖 105）。

PC 保存

無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できます（📖 109）。

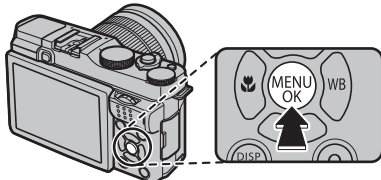
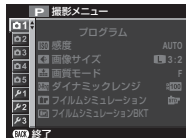
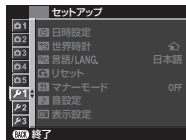
RAW 現像

撮影した RAW ファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて JPEG ファイルとして保存（現像）できます（📖 71）。

カメラの設定を変える — セットアップメニュー

日時の設定、モニターの明るさなど、カメラの基本的な設定を変えられます。

セットアップメニューの使い方

1 **MENU/OK** ボタンを押します。
メニューが表示されます。

2 ◀ でタブ選択に移ります。

3 ▼ でセットアップタブに移ります。

4 ▶ でセットアップ画面を表示します。

5 ▲ または ▼ で変更する項目を選びます。

6 ▶ で設定の変更に移ります。

7 ▲ または ▼ で設定を変更します。

8 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

9 **DISP/BACK** ボタンを押して、撮影画面または再生画面に戻ります。

セットアップメニュー一覧

日時設定

日付と時刻を設定します。

日時の設定方法については、「初期設定を行う」をご覧ください（📖 26）。

世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設定	説明
ホーム	「初期設定を行う」（📖 26）で設定した地域の日時を表示
現地	旅行先の日時を表示

現地時間の設定

1 **現地**を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
2 時差を設定します。
- ◀ または ▶：＋ / −、時間、分の選択
- ▲ または ▼：設定の変更

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

✎ **現地**を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に ✈ と日時が約 3 秒間黄色で表示されます。

言語/LANG.

画面に表示する言語を設定します。

リセット

撮影メニューまたはセットアップメニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻します。

1 リセットするメニュー（**撮影メニューリセット**または**セットアップリセット**）を選び ▶ を押すと、確認画面が表示されます。

2 **実行**を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。

✎ セットアップメニューの **日時設定**、**世界時計**、**表示設定**の**配色設定**はリセットされません。

マナーモード

ON にすると、フラッシュや AF 補助光が発光禁止になり、操作音や動画の再生音がオフになります。セルフタイマーランプも発光しません。

設定：**ON**/**OFF**

- **DISP/BACK** ボタンを長押ししてもマナーモードを設定できます。もう一度 **DISP/BACK** ボタンを長押しするとマナーモードが解除されます。
- 動画再生中は、マナーモードは設定できません。

音設定

音に関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容
操作音量	ボタンなどを操作するときの音量を設定します。 **設定**：/// OFF 音を消したいときは、OFF を選びます。
再生音量	再生時の音量を設定します。 **設定**：**0** ～ **10**

表示設定

画面表示に関する設定を変更できます。

<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>撮影画像表示</td><td>撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。
<table>
<tr><th>設定</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>連続</td><td>シャッターを半押しするまで、または MENU/OK ボタンを押すまで表示します。サブコマンドダイヤルの中央を押すと、ピント位置が拡大表示され、もう一度押すと元に戻ります。</td></tr>
<tr><td>1.5 秒</td><td rowspan="2">撮影した画像を一定時間表示。表示中にシャッターボタンを半押しすると、OFF になります。</td></tr>
<tr><td>0.5 秒</td></tr>
<tr><td>OFF</td><td>表示なし</td></tr>
</table>
◆ 実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。
◆ 高感度撮影時には、ノイズが目立つ場合があります。</td></tr>
<tr><td>モニター明るさ</td><td>画面の明るさを設定します。
設定：-5 ～ +5</td></tr>
<tr><td>モニター晴天モード</td><td>ON にすると、晴天の野外など、光の反射や映り込みが多く液晶画面が見にくい時に画面が見やすくなります（📖 11）。
設定：ON/OFF</td></tr>
<tr><td>縦横自動回転再生</td><td>ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。
設定：ON/OFF</td></tr>
<tr><td>配色設定</td><td>メニューやカーソルなどの色を設定できます。</td></tr>
</table>

フォーカスリング

遠距離側に合わせる場合の、フォーカスリングの回転方向を設定できます。

設定：**↻ 時計回り** / **↺ 反時計回り**

消費電力設定

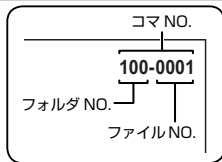
消費電力に関する設定を変更できます。

<table>
<tr><th>サブメニュー</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="5">自動電源 OFF</td><td colspan="2">自動的に電源をオフにできます。</td></tr>
<tr><td>設定</td><td>説明</td></tr>
<tr><td>5 分
2 分</td><td>設定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。</td></tr>
<tr><td>OFF</td><td>自動的に電源がオフになりません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">設定によっては、自動電源 OFF の設定が無効になる場合があります。</td></tr>
<tr><td>クイック起動</td><td colspan="2">ON にすると、カメラの電源を一度オフにしてから再度オンにした場合に高速起動します（25）。
設定：ON/OFF</td></tr>
</table>

コマ NO.

コマ NO.（フォルダ NO. ーファイル NO.）の付け方を設定します。

メモリーカードを交換したときのコマ NO. の付け方を選びます。

設定	説明
連番	メモリーカード内の最大ファイルNO. に 1 を足したファイルNO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。 ファイル名の重複を防げます。
新規	新しいメモリーカードを入れるたびに、ファイル NO. が 0001 から付けられます。 フォーマット済みのカードに交換することで、番号をリセットできます。

- コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります（146）。あらかじめ、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。
- **リセット**を行ってもコマ NO. はリセットされません。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

DATE 日付書き込み

撮影した日付と時刻を、画像に写し込むかどうかを設定します。

設定	説明
31 + ⊙	撮影した日付と時刻を、画像に写し込みます。
31	撮影した日付を、画像に写し込みます。
OFF	日付や時刻を写し込みません。

- 画像に写し込まれた日付や時刻は消去できません。日付や時刻がない画像を撮影する場合は、DATE **日付書き込み**を **OFF** に設定してから撮影してください。
- 日時設定が行われていない場合は、日時の設定画面が表示されます。日時の設定を行ってください（📖 26、96）。
- 日付書き込みを行った場合は、**プリント予約（DPOF）**の設定を日付なし設定にすることをおすすめします（📖 121）。
- 動画と RAW 画像に日時と時刻を写し込むことはできません。

センサークリーニング

センサーのほこりなどをふるい落とすことができます。

サブメニュー	内容
実行	**実行**を選ぶと、すぐにセンサークリーニングを実行します（📖 4）。
電源 ON 時に実行	**ON** に設定すると、カメラの電源をオンにしたときにセンサークリーニングを実行します。
電源 OFF 時に実行	**ON** に設定すると、カメラの電源をオフにしたときにセンサークリーニングを実行します。ただし、再生モードで電源をオフにした場合は、実行されません。

- センサークリーニングを実行してもセンサーのほこりを完全にふるい落とすことはできません。ほこりが取れない場合は、手動でセンサーをクリーニングしてください（📖 134）。

距離指標の単位

撮影モード時に表示される距離指標の単位を変更できます（📖 58）。

設定：**メートル** / **フィート**

カスタムリセット

カスタム保存（📖 52）で保存された **C**（カスタム）モードの設定をリセットします。

位置情報設定

位置情報のさまざまな設定を変更できます（107）。

サブメニュー	内容
位置情報サーチ	スマートフォンと通信して、位置情報を取得します。
位置情報記録	位置情報を撮影する画像に記録します。 **設定**：**ON**/**OFF**
位置情報表示	位置情報を表示させるかどうかを設定します。 **設定**：**ON**/**OFF**

ワイヤレス設定

無線 LAN 機能に関する設定を変更できます。

サブメニュー	内容
共通設定	・**名前**：無線 LAN 通信で使用するカメラの名前を変更できます。 工場出荷時は、カメラ固有の名前になっています。 ・**設定初期化**：無線 LAN 通信の設定を工場出荷時の設定に戻します。
スマートフォン送信時 3M 圧縮	スマートフォン送信時の画像サイズを変更できます。 ・**ON**：画像サイズを 3M に圧縮して送信します。**ON** でのご使用をおすすめします。 ・**OFF**：元画像のサイズのままで送信します。 **スマートフォン送信時 3M 圧縮**を **ON** して画像を送信しても、メモリーカードに保存されている元の画像の画像サイズが変更されることはありません。
PC 保存設定	・**保存先削除**：設定されている PC 保存の保存先を削除できます。削除する保存先を選んでください。 ・**前回接続情報**：直近に接続した PC 保存の保存先の情報が表示されます。

PC 保存先設定

PC 保存の保存先を設定します。

設定方法は、http://app.fujifilm-dsc.com/pc をご覧ください。

サブメニュー	内容
簡単設定	無線 LAN ルーターに簡単接続 (WPS) で接続し、保存先（PC）を設定します。
手動設定	無線 LAN ルーターにマニュアル操作で接続し、保存先（PC）を設定します。

フォーマット

メモリーカードをフォーマット（初期化）します。

プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。

- 消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。
- フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。

工場出荷時の設定値

撮影メニューとセットアップメニューの工場出荷時の設定値は以下のようになっています。

セットアップメニューの **リセット**を実行すると、**日時設定**、**世界時計**、**表示設定**の**配色設定**以外のすべての設定は、工場出荷時の設定に戻ります。

■ 撮影メニュー

メニュー	工場出荷時
シーン選択	美肌
Adv. モード	アドバンストフィルター
感度	AUTO（ 時）
画像サイズ	3:2
画質モード	FINE
ダイナミックレンジ	AUTO
フィルムシミュレーション	PROVIA/ スタンダード
フィルムシミュレーションBKT	
フィルム 1	PROVIA/ スタンダード
フィルム 2	Velvia/ ビビッド
フィルム 3	ASTIA/ ソフト
セルフタイマー	OFF
カラー	(0) 標準
シャープネス	(0) スタンダード
ハイライトトーン	(0) スタンダード
シャドウトーン	(0) スタンダード
ノイズリダクション	(0) スタンダード
長秒時ノイズ低減	ON
カスタム保存	–
ファンクション（Fn）設定	感度
画面のカスタマイズ	すべて表示（☑）
フレーミングガイド	方眼 9 分割
マウントアダプター設定	レンズ 5（50 mm）
レンズなしレリーズ	OFF
ブレ防止モード	常時＋動き認識
測光	マルチ
顔キレイナビ	OFF
フォーカスモード	エリア選択
MF アシスト	フォーカスピーキング（強）
AF 補助光	ON
AE/AF-LOCK 機能選択	AE LOCK のみ
動画設定	
動画モード	1920 × 1080 30fps
フォーカスモード	コンティニュアス
フラッシュモード	オート
フラッシュ調光補正	± 0
赤目補正	ON
補正前画像記録	OFF
WB（ホワイトバランス）	AUTO

■ セットアップメニュー

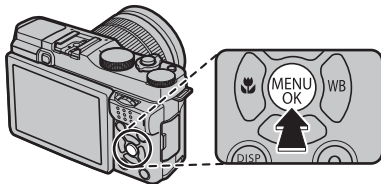
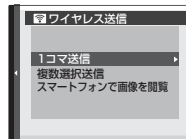
メニュー	工場出荷時
日時設定	—
世界時計	—
言語/LANG.	—
リセット	—
マナーモード	OFF
音設定 操作音量 再生音量	 (音量アイコン) 7
表示設定 撮影画像表示 モニター明るさ モニター晴天モード 縦横自動回転再生 配色設定	 OFF 0 OFF ON —
フォーカスリング	時計回り
消費電力設定 自動電源 OFF クイック起動	 2 分 OFF
コマ NO.	連番
日付書き込み	OFF
センサークリーニング 実行 電源 ON 時に実行 電源 OFF 時に実行	— — OFF ON
距離指標の単位	メートル
カスタムリセット	—

メニュー	工場出荷時
位置情報設定 位置情報サーチ 位置情報記録 位置情報表示	 — OFF ON
ワイヤレス設定 共通設定 スマートフォン送信時 3M 圧縮 PC 保存設定	 — ON —
PC 保存先設定	—
フォーマット	—

スマートフォンに画像を送信する

無線 LAN を使ってカメラからスマートフォンに画像を送信できます。また、スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧したり、送信する画像を選んでスマートフォンに取り込んだりできます。これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめスマートフォンアプリケーション「**FUJIFILM Camera Application**」をインストールしておく必要があります。

- スマートフォンアプリケーション（無料）の入手や画像の送信方法については、以下のサイトをご覧ください。
  http://app.fujifilm-dsc.com/app
- スマートフォンアプリケーション「**FUJIFILM Photo Receiver**」でも画像を送信できます。

1 再生画面で **MENU/OK** ボタンを押します。
再生メニューが表示されます。

2 再生メニューの **ワイヤレス送信**を選びます。
ワイヤレス送信メニューが表示されます。

- **Fn**（Wi-Fi）ボタンを押しても、**ワイヤレス送信**メニューを表示できます。

3 メニューから操作を選びます。

サブメニュー	内容
1 コマ送信	スマートフォンに画像を 1 コマずつ送信できます。
複数選択送信	複数の画像を選択して、スマートフォンにまとめて送信できます。
スマートフォンで画像を閲覧	スマートフォン側でカメラ内の画像や動画を閲覧できます。また、送信する画像や動画を選んでスマートフォンに取り込めます。

スマートフォンに画像を送信する

- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーのご使用をおすすめします。
- 通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、カメラの電源を切ったりしないでください。
- スマートフォンの設定によっては、送信できないことがあります。
- 画像には、タイトル、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。送信先には十分ご注意ください。
- 送信時間は画像サイズと距離に影響されます。工場出荷時の設定では画像サイズを 3M に圧縮して送信されます。通常の送信では **ワイヤレス設定**の**スマートフォン送信時 3M 圧縮**を **ON** にして送信することをおすすめします（101）。
- RAW ファイルは送信できません。また、このカメラ以外で撮影した画像、パソコン等で編集、加工した画像は送信できない場合があります。
- **1 コマ送信**と**複数選択送信**では、動画は送信できません。
- 周辺の電波状況により通信できないことがあります。
- 一定時間、カメラの操作が行われない場合は、スマートフォンとの接続が切断されます。

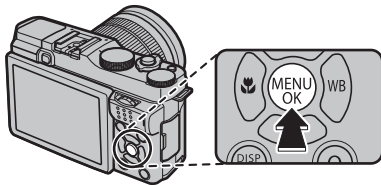
スマートフォンから取得した位置情報を使う

セットアップメニューの **位置情報設定**の **位置情報サーチ**で、スマートフォンから位置情報を取得できます。位置情報は撮影画像に付加できます。

位置情報を取得する

位置情報を取得するスマートフォンにあらかじめスマートフォンアプリケーション「**FUJIFILM Camera Application**」をインストールしておく必要があります。

スマートフォンアプリケーション（無料）の入手や位置情報の取得方法については、以下のサイトをご覧ください。
http://app.fujifilm-dsc.com/app

1 **MENU/OK** ボタンを押します。
撮影 / 再生メニューが表示されます。

2 ◀ を押してタブを反転させ、▼ を押して変更するメニューがあるセットアップメニュータブを選びます。

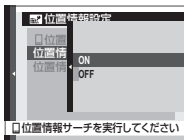
3 ▶ を押します。
セットアップメニューが表示されます。

4 セットアップメニューの **位置情報設定**から **位置情報サーチ**を実行します。
位置情報の取得が開始されます。

位置情報の精度は、スマートフォンに依存します。

取得した位置情報を撮影画像に付加する

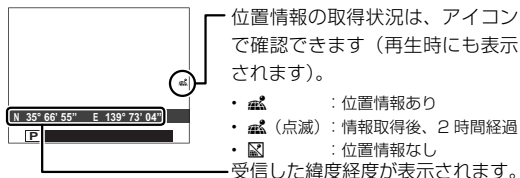
1 スマートフォンから位置情報を取得します (107)。

2 位置情報設定の位置情報記録を ON にします。

3 画像を撮影します。

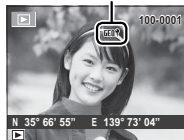
位置情報が画像に付加されます。

位置情報の取得状況は、アイコンで確認できます（再生時にも表示されます）。

- ：位置情報あり
- （点滅）：情報取得後、2 時間経過
- ：位置情報なし

受信した緯度経度が表示されます。

- **位置情報表示**を **OFF** にすると、画面に位置情報が表示されなくなります（101）。
- **位置情報記録**を **OFF** にすると、撮影画像に位置情報は付加されません。
- 最後に取得した位置情報が付加されます。取得後に場所を移動すると、位置情報がずれるので再度スマートフォンから位置情報を取得してください。
- スマートフォンから取得した位置情報は 3 時間経過するとカメラから消去されます。

■ 付加した位置情報を再生する

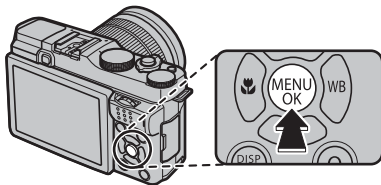
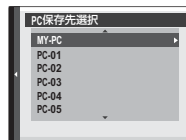
撮影時に付加された位置情報は、再生画面で確認できます。

画像に位置情報が付加されている場合は、再生時に GEO（位置情報アイコン）が表示されます。

- 再生モードで位置情報を記録した画像を選ぶと、数秒間位置情報が表示されます。

パソコンに画像を保存する

無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できます。この機能を使用するには、保存先のパソコンにあらかじめ PC アプリケーション「**FUJIFILM PC AutoSave**」をインストールして、保存先を設定しておく必要があります。

- PC アプリケーション（無料）のダウンロードやインストール方法、保存先の設定方法や使い方については、以下のサイトをご覧ください。
  http://app.fujifilm-dsc.com/pc

1 再生画面で **MENU/OK** ボタンを押します。
再生メニューが表示されます。

2 再生メニューの **PC 保存**を選びます。
PC 保存先選択画面が表示されます。

- **Fn**（Wi-Fi）ボタンを押すと表示される **ワイヤレス送信**メニューで **PC 保存**を選ぶこともできます。

3 保存先のパソコンを選びます。

- 保存先は **PC 保存先設定**で設定できます。

4 画面の指示にしたがって、画像を保存してください。

- 画像を保存する際は、十分に充電されたバッテリーのご使用をおすすめします。
- 保存中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、カメラの電源を切ったりしないでください。
- 保存が完了して、しばらくするとカメラの電源は自動的にオフになります。

パソコンと接続する

付属のソフトウェア（Windows：MyFinePix Studio）を使うと、カメラと接続したパソコンに画像をコピーして、画像の閲覧、管理、印刷をすることができます。カメラとパソコンを接続する前に、ソフトウェアをパソコンにインストールしてください。

Windows にソフトウェア「MyFinePix Studio」をインストールする

1 インストールの前に、お使いのパソコンが次の使用条件に合うか確認します。

	動作環境	
OS[*1]	Windows 8/Windows 7（SP1）/ Windows Vista（SP2）	Windows XP（SP3）
CPU	Pentium4、3GHz 相当以上 （Core 2 Duo、2.4GHz 以上）[*2]	Pentium4、2GHz 相当以上 （Core 2 Duo、2.4GHz 以上）[*2]
メモリ	1GB 以上	512MB 以上（1GB 以上）[*2]
ハードディスク空き容量	2GB 以上	
ディスプレイ	DirectX 9 以上対応のビデオカード（推奨）	DirectX 7 以上対応のビデオカード（必須）[*3]
	1,024 × 768 ドット以上 フルカラー	
その他	• 本体標準の USB ポートを推奨。その他の USB ポートは動作保証外 • 自動更新機能、画像ネットサービス、メール添付機能などの使用時に、インターネット接続ができる環境（ブロードバンド環境が推奨）が必要 • 画像アップロード機能、Map Viewer 使用時に、.NET Framework 3.5 SP1 のインストールが必要 • .NET Framework のインストールが必要な場合も、インターネット接続ができる環境が必要	

[*1] すべてプリインストールされたモデルのみ。
[*2] HD 動画を再生するための推奨動作環境。
[*3] DirectX 7 に対応していないパソコンにインストールすると、正常に動作しない場合があります。詳しくは、ご使用のパソコンメーカーにお問い合わせください。

① 上記以外の Windows OS では使用できません。自作パソコンや、OS をアップグレードしたパソコンは、動作保証外です。

2 パソコンを起動します。
コンピューターの管理者アカウント（例えば、「Administrator」）でログインしてください。

3 起動中のアプリケーションを終了して、付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れます。
インストーラーが自動で起動します。

Windows 8/Windows 7/Windows Vista をお使いの方へ
同梱の CD-ROM をパソコンに入れたときに「自動再生」ウィンドウが表示された場合は、**SETUP.EXE の実行**をクリックしてください。「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されるので、**はい**（Windows Vista では**続行**）をクリックしてください。

インストーラーを手動で起動する
インストーラーが自動起動しない場合は、手動で起動させます。

1 スタートメニューから**コンピューター**（Windows 7）/ **コンピュータ**（Windows Vista）/ **マイコンピュータ**（Windows XP）をクリックします。
2 **FINEPIX** の CD-ROM アイコンをダブルクリックします。「FINEPIX」ウィンドウが表示されます。
3 **SETUP** または **SETUP.EXE** をダブルクリックします。

インストーラーを手動で起動する（Windows 8 をお使いの場合）

1 スタートメニュー画面で**デスクトップ**を選びます。
2 タスクバーから**エクスプローラー**を選びます。
3 ナビゲーションウィンドウから**コンピューター**を選びます。
3 **「ドライブ：FINEPIX」**をダブルクリックします。画面の指示にしたがってインストールしてください。

4 MyFinePix Studio のインストールをクリックします。

- 画面の指示にしたがってソフトウェアをインストールしてください（Windows Media Player や DirectX が CD-ROM の中身よりも古いバージョンの場合は、これらのソフトウェアをインストールします）。
- RAW FILE CONVERTER も一緒にインストールされます。

5 「インストールが完了しました」というメッセージが表示されたら、CD-ROM をパソコンから取り出してください。

これでインストールは終了しました。続いて、「カメラとパソコンを接続する」（📖 115）に進んでください。

! CD-ROM は再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出した後、湿気がなく日が当たらないところに大切に保存してください。

Windows から MyFinePix Studio をアンインストール（削除）する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみアンインストールを行ってください。**アンインストールの前に MyFinePix Studio を終了し、カメラとパソコンの接続を外してください。**

1 コントロールパネルを開き、「プログラムのアンインストール」（Windows 8/Windows 7/Windows Vista）または「プログラムの追加と削除」（Windows XP）で MyFinePix Studio を削除してください。

2 確認ダイアログが表示されたら、メッセージをよくお読みの上、**OK** をクリックしてください。

Macintosh にソフトウェア「RAW FILE CONVERTER」をインストールする

RAW FILE CONVERTER をインストールすると、RAW 画像をパソコン上で現像できます。

1 お使いのパソコンが、次の使用条件に合うか確認します。

	動作環境
CPU	Intel Processor（Core2 Duo 以上）
OS*	Mac OS X（バージョン 10.6 ～ 10.8）
メモリ	1 GB 以上
ハードディスク空き容量	インストールに必要な容量：200 MB 以上 動作に必要な容量：400 MB 以上
ディスプレイ	1,024 × 768 ドット以上、フルカラー

* すべてプリインストールされたモデルのみ。

※ 最新の対応 OS については、下記のホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html

2 パソコンを起動して、起動中のアプリケーションを終了します。

3 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れ、**SILKYRFCEXInstaller** をダブルクリックします。
画面の指示にしたがって、ソフトウェアをインストールします。管理者パスワードの入力画面が表示されたら、管理者名とパスワードを入力し、**OK** をクリックしてください。

4「インストールが完了しました」というメッセージが表示されます。**閉じる**をクリックしてください。

5 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

① Web ブラウザに Safari をご使用の場合、CD-ROM を取り出す際に、「ディスク“FinePix”は使用中のため取り出せませんでした。」のメッセージが表示されることがあります。その場合は、Dock 内にある Safari のアイコンをクリックして起動し、アプリケーションメニューの **Safari** － **Safari を終了**を選択して終了させてから、CD-ROM を取り出します。

これでインストールは終了しました。続いて、「カメラとパソコンを接続する」に進んでください。

① CD-ROM は再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出した後、湿気がなく日が当たらないところに大切に保存してください。

Macintosh から RAW FILE CONVERTER をアンインストール（削除）する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみアンインストールを行ってください。**アンインストールの前に RAW FILE CONVERTER を終了し、カメラとパソコンの接続を外してください。**

1. アプリケーションフォルダにインストールされたRAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPIXをドラッグして、「ゴミ箱」に入れます。
2. Finder メニューの**ゴミ箱を空にする**を選びます。

Mac（Macintosh）で画像や動画を取り込む場合

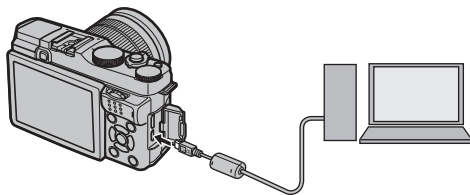
Mac OS 標準アプリケーションのイメージキャプチャなどのソフトウェアで画像や動画を取り込んでください。

カメラとパソコンを接続する

実際にカメラをパソコンと接続して正常に動作することを確認してください。Windows をお使いの場合は、Windows の CD-ROM が必要になることがありますので、あらかじめご用意ください。

1 ソフトウェアをインストールしたパソコンを起動します。

2 デスクトップの MyFinePix Studio のショートカットをダブルクリックします。

3 市販の USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。

① USB ケーブルは、向きに気をつけて、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。

① USB ケーブルは、長さが 1.5 m 以内で、データ転送が可能なものをご使用ください。

4 電源レバーを **ON** に合わせて、カメラの電源をオンにします。

5 MyFinePix Studio の画面の「画像を取り込む」をクリックします。
画面の指示にしたがって画像をパソコンにコピーしてください。

6 カメラとパソコンの接続を外します。
画像の保存が完了したら、カメラの電源をオフにしてから USB ケーブルを外してください。

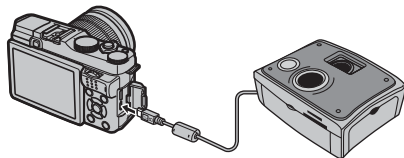
- ! 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカード内のデータが破壊されることがあります。
- ! メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダを使って、転送してください。
- ! カメラとパソコンの接続を外す前に、カメラのインジケーターランプが消灯していることを確認してください。
- ! カメラとパソコンの通信時には、以下の操作をしないでください。メモリーカードのデータが壊れたり、データが消えることがあります。
  - カメラの電源をオフにする
  - USB ケーブルを抜く
- ! メモリーカードの交換は、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行ってください。
- ! ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- ! パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- ! インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

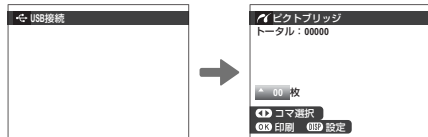
ソフトウェアの使い方については、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

プリンターにカメラをつないでプリントする

PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターがあれば、パソコンを使わなくても、カメラを直接プリンターにつないでプリントできます。

プリンターに接続する

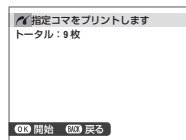
1 市販の USB ケーブルでカメラとプリンターを接続し、プリンターの電源を入れます。

① USB ケーブルは、長さが 1.5m 以内で、データ転送が可能なものをご使用ください。

2 カメラの電源をオンにします。
液晶モニターに USB 接続画面が表示され、その後ピクトブリッジ画面が表示されます。

その場で選んでプリントする

1 プリントしたい画像を選びます。

2 プリント枚数を指定します。
最大 99 枚まで設定できます。

3 手順 1 と 2 を繰り返し、プリントしたい画像をすべて選びます。

4 **MENU/OK** ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

5 もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。
プリントが開始されます。

- プリント枚数を 1 枚も指定せずに **MENU/OK** ボタンを押すと、表示中の画像が 1 枚プリントされます。
- お使いのプリンターの種類によっては、使えない機能があります。

日付を入れてプリントする

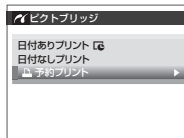
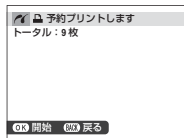
撮影した日付を入れてプリントするには、手順 1 または 2 で **DISP/BACK** ボタンを押します。ピクトブリッジの設定画面が表示されますので、▲ または ▼ を押して、**日付ありプリント** を選び、**MENU/OK** ボタンを押して決定します。

- 日付を印字したくないときは、**日付なしプリント**を選びます。
- 日付プリントに対応していないプリンターに接続した場合は、**日付ありプリント** が選べません。

プリント予約した設定でプリントする

プリント予約（DPOF）（121）であらかじめ選んだ画像を設定した枚数分プリントします。

1 **DISP/BACK** ボタンを押します。
ピクトブリッジの設定画面が表示されます。

2 予約プリントを選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

4 もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。
プリントが開始されます。

プリントの中止

プリント中に **DISP/BACK** ボタンを押すと、プリントを中止します。プリンターによっては、すぐに中止できないことやプリントの途中で停止することがあります。プリントの途中で動作が止まってしまったときは、カメラの電源をいったんオフにしてから、もう一度電源をオンにしてください。

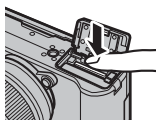
プリンターとの接続を切るには

カメラの液晶モニターに**プリント中**と表示されていないことを確認してから、カメラの電源をオフにして、USB ケーブルを取り外します。

- このカメラでフォーマットしたメモリーカードを使って、プリントしてください。
- カメラとプリンターを USB ケーブルで直接つないでいるときは、フチあり / フチなしや印字品質、用紙サイズなどはプリンター側の設定になります。

プリントサービス店でプリントする（お店プリント）

「お店プリント」とは、**プリント予約（DPOF）**であらかじめDPOF指定（121）した画像の入ったメモリーカードをフジカラーデジカメプリントサービス取扱店にお持ちいただき、「DPOF 指定でプリント」とお伝えいただくだけで、簡単に高画質でプリントできるサービスです。プリントしたい画像と枚数をカメラであらかじめ設定できるので、店頭での時間や手間を省けます。

デジタルカメラ

事前にカメラでプリントする画像と枚数を設定します（**プリント予約（DPOF）**：121）。

メモリーカード

画像の入ったメモリーカードをカメラから取り出します。

フジカラーデジカメプリントサービス店

メモリーカードをお店にお持ちいただくだけで、手軽に高画質でプリントできます。詳細は、http://fujifilm.jp/personal/print/index.html をご覧ください。

デジカメプリントのご注文について

- カメラであらかじめ DPOF 指定していなくても、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店の店頭で、プリントしたい画像や枚数、日付印字の有無を指定できます。お店のプリント受付機をご利用いただくと、画像を見ながら簡単に注文できます。
- 一部の店舗では、DPOF 指定をお受けしていない場合がありますので、ご注文時にご確認ください。
- パソコンに保存した画像なら、インターネットでもデジカメプリントをご注文いただけます。画像をパソコンに転送する方法は、110 ページを参照してください。
- 日付プリントする場合は、撮影時にすでにカメラの日時設定が正しく設定されている必要があります。撮影前にカメラの日時が正しく設定されていることをご確認ください（26）。

プリントする画像を指定する（🖨 プリント予約（DPOF））

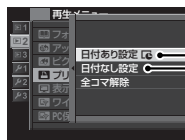
再生メニューの 🖨 **プリント予約（DPOF）** であらかじめ DPOF 指定（プリント予約）しておくと、カメラを PictBridge 対応プリンターに直接つないでプリントしたり（📖 117）、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店でお店プリントするとき（📖 120）に、指定した内容で簡単にプリントできます。

DPOF 指定

DPOF（ディーポフ）とは、Digital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたい画像や枚数、日付印字の有無などの指定情報を、メモリーカードなどに記録するときの形式です。

■ 日付あり設定 / 日付なし設定

1 再生メニューで 🖨 **プリント予約（DPOF）** を選びます（📖 93）。

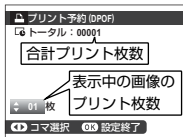
2 **日付あり設定** または **日付なし設定** を選びます。

日付あり設定：撮影日を印字します。

日付なし設定：撮影日を印字しません。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

4 DPOF 指定する画像を選びます。

5 プリント枚数を選びます（最大 99 枚）。

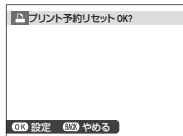
• DPOF 指定を取り消したいときは、プリント枚数が 0 になるまで ▼ を押します。

6 プリントしたいすべての画像に対して手順４と５を行います。

設定した内容を保存して終了するには、**MENU/OK** ボタンを、設定を変更せずに終了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

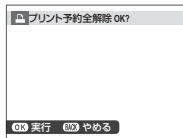
7 合計枚数を確認して、もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。

DPOF 指定（プリント予約）した画像には、再生時に が表示されます。

- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで DPOF 指定することができます。
- 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、右のようなメッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押して、すでに設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定し直してください。

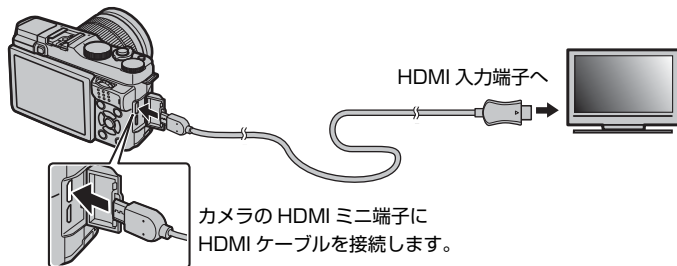
- 日付あり / 日付なしはプリンターの設定による場合がありますので、お使いのプリンターの設定を確認してください。

■ 全コマ解除

現在設定されている DPOF 指定（プリント予約）を一度に解除できます。

全コマ解除を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、確認画面が表示されます。もう一度、**MENU/OK** ボタンを押すと、DPOF 指定がすべて解除されます。

テレビに接続する

テレビに接続すると、写真やスライドショー（📖 92）を大勢で楽しむことができます。

1 カメラの電源をオフにします。

2 市販の HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続します。

- ❗ USB ケーブルと HDMI ケーブルは同時に接続できません。
- ❗ HDMI ケーブルは、長さが 1.5 m 以内のものをご使用ください。
- ❗ HDMI ケーブルで接続しているときは、テレビの画面には記録した画像と音声が出力されます。
- ❗ テレビによっては、動画再生開始時に画面が一時的に黒くなる場合があります。

3 テレビの入力を HDMI 入力に切り換えます。
テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書をご覧ください。

4 電源レバーを **ON** に合わせて、カメラの電源をオンにし、▶（再生）ボタンを押します。
カメラの液晶モニターが消え、画像がテレビで再生されます。

! ケーブルは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。

◆ 音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。

カメラで使えるアクセサリー

アクセサリー

別売アクセサリー

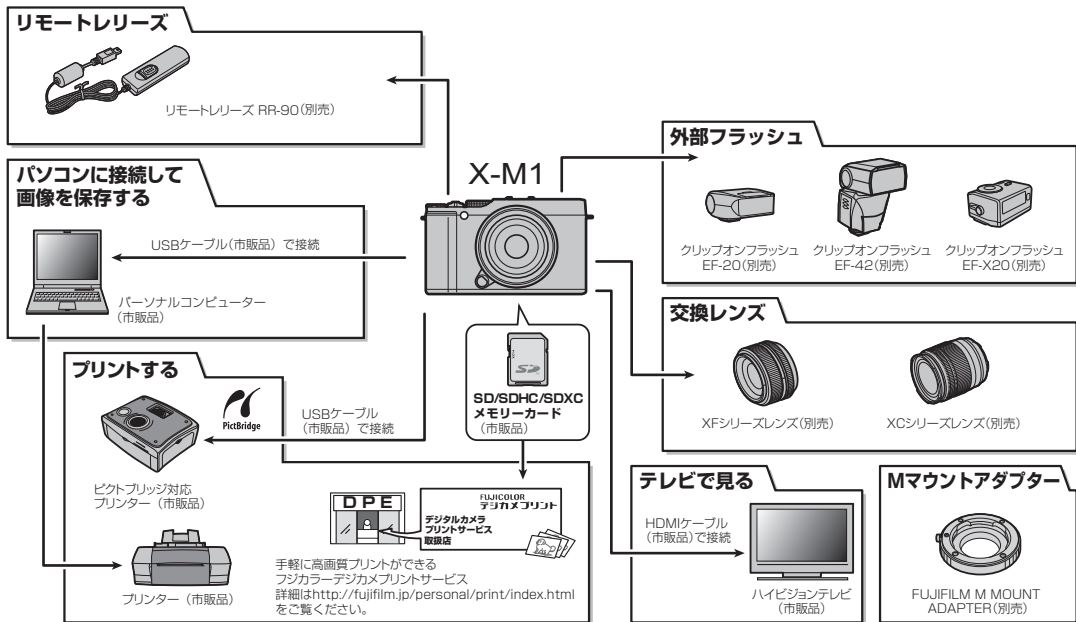
このカメラでは、次の富士フイルム製別売アクセサリーを使用できます。

充電式バッテリー NP-W126：リチウムイオンタイプの大容量充電式電池です。	
バッテリーチャージャー BC-W126：充電式バッテリー NP-W126 を充電します。充電時間は約 150分（＋20 ℃ において）です（AC100V～240V、50/60Hz 対応）。	
リモートレリーズ RR-90：三脚と併用してブレを軽減したいときなどにお使いください。	
XF シリーズレンズ：FUJIFILM X マウント専用の交換レンズです。	
XC シリーズレンズ：FUJIFILM X マウント専用の交換レンズです。	

クリップオンフラッシュ EF-20：ガイドナンバー 20（ISO100･m）のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能を搭載。バウンス角度は上 90°です。単三電池 2 本を使用します。	
クリップオンフラッシュ EF-42：ガイドナンバー最大 42（ISO100･m）のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能、24 ～ 105mm（35mm フィルム換算）のオートズーム機能を搭載。バウンス角度は上 90°、左 180°、右 120°です。単三電池 4 本を使用します。	
クリップオンフラッシュ EF-X20：ガイドナンバー 20（ISO100･m）のクリップオンタイプのフラッシュです。	
M マウントアダプター：豊富なバリエーションを持つ M マウントレンズをカメラボディに装着するためのマウントアダプターです。	
プロテクトフィルター PRF-39/PRF-49S/PRF-52/PRF-58/PRF-62：交換レンズ用のプロテクトフィルターです。	
ハンドクリップ HG-XM1：カメラのホールディング性を高めます。	
レザーケース BLC-XM1：X-M1 用の本革製ケースです。カメラを装着したままの撮影や、カードやバッテリーの出し入れが可能です。同革素材のショルダーストラップを同梱しています。	

※最新情報については、富士フイルムホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/index.html

システム構成図

このカメラは、さまざまな富士フイルムおよび他社製品に対応しています。

* デジタルカメラの画像は、従来の写真と同様にプリント取扱店でプリントできます。
* 本製品は PRINT Image Matching Ⅱに対応しています。
* USB ケーブルと HDMI ケーブルは、長さが 1.5 m 以内のものをご使用ください。

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。	
⚠ 警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。	
	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源プラグを抜く

異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。
煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- お買上げ店にご相談ください。

水ぬれ禁止

内部に水や異物を落とさない。
水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外す。
そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
- お買上げ店にご相談ください。

風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しない。
火災・感電の原因になります。

分解禁止

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。
火災・感電の原因になります。

接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。
感電したり、破損部でけがをする原因になります。
- 感電やけがに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。

接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。
コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。
- コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。

不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。

移動中の使用はしない。
歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。
転倒、交通事故などの原因になります。

雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。
落雷すると誘電雷により感電の原因になります。

指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。
電池は極性（⊕⊖）表示どおりに入れてください。

電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。
電池・バッテリーを落としたり、衝撃を加えない。
リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。
電池・バッテリーをショートさせない。
電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。
バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。
電池・バッテリーの破裂・液漏れにより、火災・けがの原因になります。

指定外の電池・バッテリーや AC パワーアダプターを使用しない。
表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。
火災の原因になります。

電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。

バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一または同タイプのものだけを使用してください。

可燃性 / 爆発性ガス / 粉塵のある場所で使用しない。

電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープをはる。
他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。

メモリーカードは、乳幼児に触れさせないこと。
メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。
火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。

小さいお子様の手の届くところに置かない。
けがの原因になることがあります。

本製品の上に重いものを置かない。
バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

ACパワーアダプターを接続したまま移動しない。ACパワーアダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。
電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
火災・感電の原因になることがあります。

本製品やACパワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。
熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。

お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーやACパワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。
火災・感電の原因になることがあります。

充電終了後は充電器をコンセントから抜く。
コンセントにつけたままにしておくと火災の原因になることがあります。

フラッシュを人の目に近づけて発光させない。
一時的に視力に影響することがあります。
特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。

メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。
飛び出したカードが当たり、けがの原因になることがあります。

定期的な内部点検・清掃を依頼する。
本製品の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。
- 2年に1度くらいは、内部清掃をお買上げ店にご依頼ください。

電源についてのご注意

※ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

1 充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

※バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
※バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

■バッテリーの特性
- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

■充電について
- 付属の充電器を使用して充電できます。
  - 充電は周囲の温度が0℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
  - +10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。充電は+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■バッテリーの寿命について
常温で使用した場合、約300回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

■保存上のご注意
- 充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。
  - 周囲の温度が+15℃～+25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。
  - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

危険ですので、次のことにご注意ください

バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。

火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。

分解したり、改造したりしないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生にはACパワーアダプターをお使いください。

2 単3形アルカリ乾電池、単3形ニッケル水素電池使用機種

■取扱い上のご注意
- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 変形させたり、分解、改造をしないでください。

- 外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- 液漏れしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。
- カメラに電池を入れるときは、極性（⊕と⊖）に注意して表示どおりに入れてください。
- 新しい電池と使用した電池（充電式電池の場合 : 充電済みの電池と、放電した電池）、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください（電池を取り外して放置した場合、各種設定がクリアされます）。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 寒冷地（＋ 10℃以下）では電池の性能が低下し、使用可能時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。電池をセットする前に電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃してください。

万一、液漏れが起こったときは、電池挿入部についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。

■単 3 形ニッケル水素電池を正しくお使いいただくための注意

- お買上げ時や長い間使用しなかったニッケル水素電池は「不活性」状態になっている可能性があります。また、まだ十分に使用できる状態で充電を繰り返すと「メモリー効果」が生じる可能性があります。
「不活性」状態や「メモリー効果」が発生したニッケル水素電池では、充電後の使用可能時間が短くなる症状が出てきます。この症状を防ぐにはカメラに内蔵している充電池放電機能をお試しください。
「不活性」や「メモリー効果」はニッケル水素電池固有のもので、故障ではありません。

注意 アルカリ乾電池使用時は「充電池放電」機能を使用しないでください。

- ニッケル水素電池用充電器は、ニッケル水素電池 HR-AA 専用です。乾電池や他の充電式電池を充電すると、液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- ニッケル水素電池の充電は、専用の充電器を使用し、充電器の「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- 充電器では、指定外の電池を充電しないでください。
- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。ニッケル水素電池を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- ニッケル水素電池は使わなくても自然放電しており、使用可能時間が短くなることがあります。
- ニッケル水素電池は、放電し過ぎると急速に劣化します。（懐中電灯などでの放電）。放電はカメラの「充電池放電」機能をご使用ください。
- ニッケル水素電池にも寿命があります。放電と充電を繰り返しても使用可能時間が短い場合は、寿命の可能性があります。

■電池の廃棄について

- 電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

❸ 両機種（❶、❷）共通のご注意

■小形充電式電池のリサイクルについて

小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。詳細は、「一般社団法人 JBRC」のホームページをご参照ください。http://www.jbrc.net/hp/contents/jbrc/index.html

■AC パワーアダプター使用機種

必ず専用の AC パワーアダプターをお使いください。
弊社専用品以外の AC パワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因になることがあります。
AC パワーアダプターに関しての詳細は、取扱説明書をご参照ください。

- 室内専用です。
- DC 入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- DC 入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- AC パワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- 使用中、AC パワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

ソフトウェアに関するご注意

本製品に同梱されているCD-ROMを音楽用CDプレーヤーにかけないでください。耳に障害を負う恐れや、スピーカー、イヤホンなどを破損する恐れがあります。

お客様は日本国政府または該当国の政府より必要な許可などを得ることなしに「許諾ソフトウェア」の全体または一部を直接または間接に輸出してはなりません。

■使用説明書について

使用説明書はパーソナルコンピューター（以下パソコンといいます）とWindows、Macintoshの使用方法に関する基本的な知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。パソコンとWindows、Macintoshの使用方法については、それぞれに付属のマニュアルをご覧ください。表示される画面やメニューが使用説明書と異なる場合がありますがご了承ください。

カメラをお使いになる前のご注意

■撮影の前には試し撮りをしましょう

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

■商標について

- xD、xD-Picture Card™、xD-ピクチャーカード™は富士フイルム（株）の商標です。
- DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- Macintosh、Mac OS、QuickTimeは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Windows 8、Windows 7、Windows Vistaおよび Windowsロゴは、マイクロソフトグループの商標です。
- Wi-Fi®および、Wi-Fi Protected Setup®はWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- SDHCロゴ、SDXCロゴはSD-3C,LLCの商標です。
- HDMIロゴは商標です。
- mixiは株式会社ミクシィの登録商標です。
- YouTubeはGoogle Inc.の登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、一般財団法人VCCI協会の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

- カメラを強い光源（晴天時の太陽など）に向けないでください。撮像素子が破損する場合があります。
- 太陽光がファインダーのレンズに入射すると、内部の表示パネル上で焦点をむすび、表示パネルを破損させてしまうことがあります。ファインダーを太陽に向けないようにご注意ください。

■避けて欲しい保存場所

次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本製品の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカードについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

■メモリーカード取扱上のご注意

- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- 強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■メモリーカードをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのメモリーカードを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- パソコンでメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカードがカメラで使用できなくなることがあります。
- 画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

レンズをご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

本文は、レンズまたはレンズを取り付けたカメラを安全に取り扱うための注意内容です。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。	
⚠ 警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。
お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。	
⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

風呂、シャワー室での使用禁止

水をかけたり、水にぬらしたりしない。
火災・感電の原因になります。

分解禁止

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。
火災・感電の原因になります。
また、異常動作を起こしてケガの原因になります。

接触禁止

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。
感電したり、破損部でけがをする原因になります。
- 感電やけがに注意して速やかにカメラの電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。

不安定な場所に置かない。
バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。

レンズまたはカメラで直接太陽をみない。
失明や視力障害になる恐れがあります。

⚠ 注意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。
火災・感電の原因になることがあります。

異常な高温になる場所に置かない。
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。
火災の原因になることがあります。

小さいお子様の手の届くところに置かない。
けがの原因になることがあります。

濡れた手で触らない。
感電の原因になることがあります。

逆光撮影では、画角から太陽を十分にはずす。
太陽光がカメラ内部に直接入ることで、カメラ内で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。

使用しない時は、レンズにキャップをつけ、太陽光のあたらない場所に保管する。
太陽光が内部で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。

三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しない。
転倒したり、ぶつけたりしてケガの原因になることがあります。

重要! 本製品に搭載されている無線 LAN をご使用になる前に必ずお読みください。

①本製品は、米国輸出規則（EAR）の対象となり、米国禁輸出国への輸出や持ち出しには、米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

■ 本製品は無線 LAN 機器としてお使いください。

無線 LAN 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線 LAN 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 無線 LAN 機能はお買い求め頂いた国での利用を前提としています

本製品の無線 LAN 機能はお買い求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使い頂く国の法律を順守してください。お買い求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

電波によるデータ（画像）の送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

本電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください（環境により電波が届かないことがあります）。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ 使用周波数帯

本製品の、使用周波数は 2.4GHz 帯です。変調方式として DSSS、OFDM 変調方式を採用しています。

無線 LAN 機器使用上の注意事項

■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- 産業・科学・医療用機器
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
  (1) 構内無線局（免許を要する無線局）
  (2) 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。

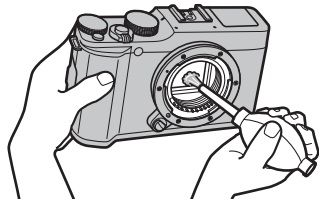
万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。

本製品が 2.4GH z周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 40 mであることを意味しています。

センサーをクリーニングする

① クリーニング作業中にセンサーを傷付けたり、破損した場合、弊社サービスステーションでの（交換）修理は有償（高額）となりますので、十分ご注意ください。

1 センサーの表面に付着したほこりをブロアー（ブラシの付いていないもの）で取り除きます。

① ブロアーはブラシの付いていないものを使用してください。ブロアーのブラシでセンサーのほこりを取り除くと、表面を傷付けることがあります。

2 センサーの表面に付着していたほこりが取り除けたかを確認します。

取り除けていない場合は、再度ブロアーでクリーニングしてください。

3 カメラにレンズまたはボディキャップを装着します。

困ったときは

トラブルシューティング /FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

■ 電源とバッテリー

症 状		ここをチェック！	処 置	
バッテリー、電源について	**ON/OFF**（電源）レバーを **ON** に合わせても電源がオンになりません。	バッテリーが消耗していませんか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	20、22
		バッテリーを正しい向きで入れていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	22
		バッテリーカバーはきちんと閉まっていますか？	バッテリーカバーをしっかり閉めてください。	23
	ON/OFF（電源）レバーをオフにしたあとに素早くオンにしても液晶モニターが点灯しません。	—	シャッターボタンを半押ししてください。	—
	バッテリーの消耗が早いです。	非常に寒いところでカメラを使っていませんか？	バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。	128
		バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭いてください。	—
		表示設定の**モニター晴天モード**が **ON** になっていませんか？	バッテリーを長持ちさせたい場合は、**モニター晴天モード**を **OFF** に設定してください。	11
		フォーカスモードを **コンティニュアス**または **自動追尾**に設定していませんか？	バッテリーを長持ちさせたい場合は、**フォーカスモード**を **エリア選択**に設定して撮影してください。	57
		撮影モードが SR+ に設定されていませんか？	撮影モードを変更してください。	42
		同じバッテリーを長時間使っていませんか？	バッテリーの寿命の可能性があります。新品のバッテリーと交換してください。	—
	使用中に電源がオフになってしまいました。	バッテリー残量が少なくなっていませんか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	20、22

症 状		ここをチェック！	処 置	
充電について	充電が開始されません。	バッテリーは入っていますか？	バッテリーを入れてください。	22
		バッテリーは正しい向きで入っていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	22
		プラグは正しくコンセントに接続されていますか？	充電器のプラグを正しくコンセントに接続してください。	20
	充電時間がかかりすぎます。	非常に寒いところで充電を行っていませんか？	低温時は、充電時間が長くなるときがあります。	—
	充電中に充電ランプが点滅して充電できません。	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。	—
		バッテリーの寿命または故障の可能性があります。	新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。	22、161

■ メニューなどの設定時

症 状	ここをチェック！	処 置	
メニューが日本語以外で表示されています。	セットアップメニューの **言語/LANG.** が日本語以外の言語になっていませんか？	言語設定を**日本語**にしてください。	96

■ 撮影時

症 状		ここをチェック！	処 置	
基本撮影について	シャッターボタンを押しても撮影できません。	撮影可能枚数が 0 になっていませんか？	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。	22、34
		メモリーカードはフォーマットされていますか？	カメラでフォーマットしてください。	102
		メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れていませんか？	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布で拭いてください。	—
		メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。	22
		バッテリー残量が少なくなっていませんか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	20、22
		電源がオフになっていませんか？	電源をオンにしてください。	25
	シャッターボタンを半押しすると、LCD にノイズが見えます。	被写体が暗かったり、絞りを絞り込んでいませんか？	設定した絞りで撮影前の構図を確認するために明るく表示しているので、ノイズが目立つ場合があります。撮影画像には影響ありません。	—
ピントについて	ピントを合わせられません。	近距離のものを撮影しようとしていませんか？	マクロを設定してください。	38
		マクロのまま、遠くのものを撮影しようとしていませんか？	マクロを解除してください。	
		オートフォーカスの苦手な被写体を撮影しようとしていませんか？	AE/AF ロック撮影してください。	61、62
マクロ（近距離）について	マクロ（近距離）が設定できません。	マクロが設定できない撮影モードになっていませんか？	「各撮影モードで使用できる機能について」を参照してください。	150

症状		ここをチェック！	処置	
顔キレイナビ（顔検出機能）について	顔キレイナビ（顔検出機能）が設定できません。	顔キレイナビ（顔検出機能）が設定できない撮影モードになっていませんか？	「各撮影モードで使用できる機能について」を参照してください。	150
	顔を検出できません。	サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか？	なるべく顔の全体が見えるようにしてください。	85
		撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか？	顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
		人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか？	顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。	
		カメラが傾いていませんか？	カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。	—
		人物の顔が暗くないですか？	できるだけ明るい条件で撮影してください。	—
	ピントを合わせたい顔にピントが合いません。	複数の顔が検出されているときに、中央付近にない顔にピントを合わせようとしていませんか？	合わせたい顔が画面の中央に来るように構図を変えてください。構図を変えたくない場合は、顔キレイナビを使わずに AF/AE ロック撮影してください。	61
フラッシュについて	フラッシュが発光しません。	フラッシュが使用できない設定になっていませんか？	「各撮影モードで使用できる機能について」を参照してください。	150
		バッテリー残量が少なくなっていませんか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	20、22
		連写設定がブラケティング撮影または連写になっていませんか？	連写設定を **1 コマ撮影**に設定してください。	66、67
		マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	11
		フラッシュが閉じていませんか？	フラッシュをポップアップしてください。	36
	使いたいフラッシュ設定を選べません。	マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	11
	フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗い。	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	154
		フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。	29
		高速シャッタースピードで撮影していませんか？	シャッタースピードが 1/180 秒より高速の場合は、フラッシュを発光しても暗くなることがあります。シャッタースピードを 1/180 秒以下に設定してください。	37、49、51

症 状		ここをチェック！	処 置	📖
撮影した画像の異常について	画像がぼやけています。	レンズに指紋などの汚れがついていませんか？	レンズを清掃してください。	4
		レンズに指などがかかっていませんか？	レンズに指がかからないようにしてください。	—
		撮影時に AF フレーム（赤点灯）と !AF が表示されていませんでしたか？	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	30
		撮影時に 手ブレ警告マーク が表示されていませんでしたか？	手ブレの可能性があります。フラッシュ撮影をするか、三脚を使用してください。	36
	画像に点状のノイズがあります。	気温の高いところでスローシャッター（長時間露光）撮影しませんでしたか？	撮像素子の特性によるもので、故障ではありません。	—
	画像にノイズが撮影されます。	高温環境で連続使用をしていませんか？	しばらく電源オフにした後でご利用ください。	147
		温度警告が表示されていませんでしたか？		

■ 動画時

症 状		ここをチェック！	処 置	📖
動画撮影について	カメラの動作音が気になります。	**動画設定**の**フォーカスモード**が **コンティニュアス**に設定されていませんか？	**フォーカスモード**を **センター固定**に設定してください。	86
		ズーム操作していませんか？	ズームを固定して撮影してください。	—
		顔キレイナビを **ON** にしていませんか？	**顔キレイナビ**を **OFF** にしてください。	85

■ 再生時

<table>
<tr><th colspan="2">症 状</th><th>ここをチェック！</th><th>処 置</th><th>📖</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1 コマ再生について</td><td>画像が粗く表示されます。</td><td>他のカメラで記録した画像ではありませんか？</td><td>他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。</td><td>—</td></tr>
<tr><td rowspan="2">拡大表示できません。</td><td>リサイズした画像ではありませんか？</td><td>リサイズした画像は、再生ズームができません。</td><td>—</td></tr>
<tr><td>他のカメラで記録した画像ではありませんか？</td><td>他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。</td><td>—</td></tr>
<tr><td rowspan="4">動画再生について</td><td rowspan="4">カメラから音が出ません。</td><td>カメラの再生音量の設定が小さくなっていませんか？</td><td>再生音量を調節してください。</td><td>97</td></tr>
<tr><td>動画撮影時にマイクを手などでふさいでいませんでしたか？</td><td>動画撮影時はマイクをふさがないでください。</td><td>10、39</td></tr>
<tr><td>再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか？</td><td>再生中はスピーカーをふさがないでください。</td><td>10、40</td></tr>
<tr><td>マナーモードに設定されていませんか？</td><td>マナーモードを解除してください。</td><td>11</td></tr>
<tr><td rowspan="2">消去について</td><td>選択した画像を消去できません。</td><td rowspan="2">プロテクトされていませんか？</td><td rowspan="2">プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行ったカメラをお使いください。</td><td rowspan="2">90</td></tr>
<tr><td>全コマ消去したのに画像が残っています。</td></tr>
<tr><td>コマ NO. について</td><td>コマ NO. の連番が機能しません。</td><td>バッテリーやメモリーカードを交換するときに電源を切らずにバッテリーカバーを開けませんでしたか？</td><td>バッテリーやメモリーカードを交換するときは、必ず電源をオフにしてください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、コマ NO. の連番が機能しないことがあります。</td><td>99</td></tr>
</table>

■ 接続時

症 状		ここをチェック！	処 置	📖
テレビとの接続について	カメラの画面に何も表示されません。	カメラとテレビを接続していませんか？	カメラとテレビを接続した場合、カメラの画面には何も表示されません。	123
	テレビに画像、音声が出ません。	カメラとテレビが正しく接続できていますか？	確認して正しく接続し直してください。	
		テレビの入力が「テレビ」になっていませんか？	テレビの入力を「HDMI」にしてください。	
		テレビの音量が小さくなっていませんか？	テレビの音量を調節してください。	
パソコンとの接続について	パソコンがカメラを認識しません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	115
	撮影した RAW または JPEG などの画像ファイルがパソコンに取り込めません。	MyFinePix Studio を使わずに、カメラからパソコンに画像を取り込もうとしていませんか？	付属のソフトウェア（Windows: MyFinePix Studio）を使って、画像を取り込んでください。	110、113
プリンターとの接続について	接続したのにプリントできません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	117
		プリンターの電源は入っていますか？	プリンターの電源を入れてください。	—
	1 枚ずつしかプリントされません。	PictBridge 対応のプリンターでプリントしていますか？	プリンターの仕様やプリントサービスによっては、各画像を 1 枚ずつしかプリントできないことがあります。また、日付が入らないことがあります。	—
	日時が印字されません。			

■ スマートフォン通信時

症状	ここをチェック！	処置	📖
スマートフォンと接続できません。 スマートフォンとの接続 / 送信に時間がかかります。 画像送信が途中で失敗 / 切断します。	スマートフォンとの距離が離れていませんか？	スマートフォンを近づけてご使用ください。	101、105
	電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くでご使用されていませんか？	それらの機器から離れてご使用ください。	
スマートフォンに送信できません。	相手先のスマートフォンがすでに別のカメラと接続していませんか？	スマートフォンもカメラも一度に接続できる相手は 1 台のみです。 別のカメラとの接続を終了してから、やり直してください。	
	スマートフォンが近距離に複数台ありませんか？	操作をはじめからやり直してください。 周囲に複数台のスマートフォンがあると、つながりにくい場合があります。	
送信または が押せません。	動画や他のカメラで撮影した画像が選択されていませんか？	このカメラで撮影した画像を送信してください。他のカメラで撮影した画像は送信できない場合があります。 動画は送信できません。	
スマートフォンで受信した画像が開けません。	**ワイヤレス設定**の**スマートフォン送信時** 3M **圧縮**を **OFF** に設定していませんか？	**スマートフォン送信時** 3M **圧縮**を **ON** にしてください。また、スマートフォンによっては画像が大きすぎて開けない場合があります。	

困ったときは

■ その他

症 状		ここをチェック！	処 置	📖
カメラの動作などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。	22、23
		バッテリーの消耗が原因として考えられます。	充電済みのバッテリーを使ってください。	20、22
	カメラが正常に作動しなくなってしまいました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。	22、23 161
音について	音がでません。	マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	11
液晶モニターについて	色や表示が普段と違います。	**表示設定**の**モニター晴天モード**が **ON** になっていませんか？	**モニター晴天モード**を **OFF** に設定してください。	11
日付と時刻について	**日付書き込み**で写し込んだ日時が正しくない。	日時設定は正しく設定されていますか？	日時設定をやり直してください。	26、96
	撮影画像に日付や時刻が入っている。	**日付書き込み**が設定されていませんか？	写し込まれた日付や時刻は消去できません。日付や時刻がない画像を撮影する場合は、**日付書き込み**を **OFF** に設定してから撮影してください。	100

困ったときは

警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処 置
（赤点灯）	バッテリーの残量が少なくなっています。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。
（赤点滅）	バッテリーの残量がありません。	
	シャッタースピードが遅く、手ブレを発生しやすい状態です。	フラッシュ撮影してください。ただし撮影シーンやモードによっては、三脚のご使用をおすすめします。
!AF（赤点灯） AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	• AE/AF ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください（ 61）。 • 近距離撮影の場合は、 マクロを設定してください。
絞り、シャッタースピード表示（赤点灯）	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	• 静止画撮影時に被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。 • 適切な明るさ（露出）ではありませんが撮影できます。
フォーカスエラー **レンズ制御エラー** **電源を入れ直してください**	カメラが誤作動または故障しています。	• 電源を入れ直してください。 • 電源のオン / オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードがありません	メモリーカードが入っていない状態で撮影しようとしました。	カメラにメモリーカードを入れてください。
フォーマットされていません	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください（ 102）。
	メモリーカードがパソコンでフォーマットされています。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください（ 102）。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります（ 102）。それでも警告表示が消えない場合は メモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
レンズエラー	レンズとカメラの間に異物が入っています。	カメラの電源をオフにしてレンズを取り外し、異物を取り除いて電源を入れ直してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

警告表示	警告内容	処 置
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください (📖 102)。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります (📖 102)。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	非対応のメモリーカードです。	弊社動作確認済みのメモリーカードを挿入してください。
	メモリーカードが壊れています。	
プロテクトされたカードです	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください（📖 24）。
動画記録できません	パソコンでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください (📖 102)。
SD 空き容量がありません	メモリーカードに空き容量がないため、画像を記録できません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
記録できませんでした	メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すか電源の **ON**/**OFF** を繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください (📖 102)。
DISP を長押しして マナーモードを 解除してください	マナーモード時に音量を設定しようとしています。	マナーモード時は音量の設定はできません。音量を設定したい場合は、マナーモードを解除してください。

警告表示	警告内容	処 置
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、セットアップメニューの **コマ No.** を**新規**に設定します。撮影すると、コマ No. が「100-0001」から付けられます。 **コマ No.** を**連番**に戻すと、引き続き撮影できます。
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしました。	このファイルは再生できません。
	メモリーカード の接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります（102）。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
枚数制限をこえています	30000 枚以上の画像をピクチャーサーチしようとしました。	30000 枚以上の画像はピクチャーサーチできません。
	複数指定消去を枚数制限以上の画像で実行しようとしました。	999 枚を超える画像では、複数指定消去は実行できません。
プロテクトされています	• プロテクトされているファイルを消去しようとしました。 • プロテクトされているファイルを回転しようとしました。	プロテクトしたファイルは消去 / 回転できません。プロテクトを解除してください（90）。
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとしました。	トリミングできない画像です。
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
設定できません **設定できません**	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとしました。	プリント予約できません。
回転できません **回転できません**	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしました。	回転できません。
実行できません **実行できません**	他のカメラで撮影した画像、動画、または再生できない画像を赤目補正しようとしました。	—

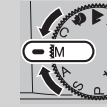
困ったときは

警告表示	警告内容	処 置
接続できませんでした	パソコンまたはプリンターとの通信ができませんでした。	• パソコンまたはプリンターの電源が入っているか確認してください。 • パソコンまたは USB ケーブルの接続を確認してください。
プリンターエラー	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	• プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。 • プリンターの電源をいったん切ってから、再び入れてください。 • お使いのプリンターの使用説明書をお読みください。
プリンターエラー 再開しますか？	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。プリンターエラーを解消すると自動的にプリントが再開されます。確認後もエラーメッセージが消えない場合は **MENU/OK** ボタンを押して、プリントを再開してください。
プリントできません	他のカメラで撮影した画像またはプリンターが画像フォーマットに対応していない画像をプリントしようとしました。	• お使いのプリンターの使用説明書をご覧になり、プリンターが JFIF-JPEG、Exif-JPEG 形式の画像フォーマットに対応しているかご確認ください。対応していない場合はプリントできません。 • このカメラで撮影したデータですか？このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。
プリントできない コマです	他のカメラで撮影した画像（ ）または動画をプリントしようとしました。	• 動画はプリントできません。 • このカメラで撮影したデータですか？このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。
!	カメラの温度が上昇しています。そのまま使い続けると、画像にノイズが多くなる場合があります。	電源を切ってしばらくたってからご使用ください。

資料集

SD メモリーカードの標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数及び撮影時間はおおよその目安です。実際の撮影枚数及び撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。

撮影モード ＼ 記録媒体		4GB		8GB	
		FINE	NORMAL	FINE	NORMAL
静止画	L 3:2	600	960	1210	1910
	RAW	150		310	
動画 *1	FULL HD 1920×1080 30fps *2	13 分		26 分	
	HD 1280×720 30fps *3	25 分		51 分	

*1 HD 動画を撮影するときは、CLASS⑩ 以上のメモリーカードをご使用ください。
*2 連続して記録する場合、約 14 分で自動的に撮影を停止します。
*3 連続して記録する場合、約 27 分で自動的に撮影を停止します。

メインコマンドダイヤルとサブコマンドダイヤルの機能について

サブコマンドダイヤルとメインコマンドダイヤルの機能は、ご使用のレンズや撮影モードによって異なります。

<table>
<tr><th colspan="3">レンズの設定</th><th>P
（プログラム）
（📖 48）</th><th>S（シャッタースピード優先）
（📖 49）</th><th>A
（絞り優先）
（📖 50）</th><th>M
（マニュアル）
（📖 51）</th><th>再生モード
（📖 31）</th></tr>
<tr><td rowspan="3">メインコマンドダイヤル</td><td rowspan="2">絞りリング付きレンズ（📖 17）</td><td>A に設定</td><td colspan="3" rowspan="3">露出補正（📖 63）</td><td rowspan="3">シャッタースピードを設定</td><td rowspan="3">コマ送り</td></tr>
<tr><td>A 以外に設定*1</td></tr>
<tr><td colspan="2">絞りリングなしレンズ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">サブコマンドダイヤル</td><td rowspan="2">絞りリング付きレンズ（📖 17）</td><td>A に設定</td><td rowspan="3">プログラムシフト</td><td rowspan="3">シャッタースピードを設定</td><td colspan="2">絞り値を設定</td><td rowspan="3">・再生ズーム
・マルチ再生</td></tr>
<tr><td>A 以外に設定*1</td><td colspan="2">—*2</td></tr>
<tr><td colspan="2">絞りリングなしレンズ</td><td colspan="2">絞り値を設定</td></tr>
</table>

*1 絞りモードスイッチがあるレンズの場合は、 の位置に設定

*2 レンズの絞りリングで絞り値を設定

各撮影モードで使用できる機能について

各撮影モードで使用できる機能は以下のとおりです。

					Adv.										SP									
			SR+				P	S	A	M													TEXT
AF エリア選択					✔	✔	✔	✔	✔	✔													
WB							✔	✔	✔	✔													
			✔	✔			✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔
			✔	✔			✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔
							✔	✔	✔	✔													
	ISO						✔	✔	✔	✔													
							✔	✔	✔	✔													
	DR						✔	✔	✔	✔													
	OFF			✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]	✔[1]		
				✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔												✔[2]	✔[2]
ISO	AUTO		✔[3]	✔[3]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]
	H（25600）						✔	✔	✔	✔													
	H（12800）						✔	✔	✔	✔													
	6400					✔	✔	✔	✔	✔													
	5000					✔	✔	✔	✔	✔													
	4000					✔	✔	✔	✔	✔													
	3200					✔	✔	✔	✔	✔													
	2500					✔	✔	✔	✔	✔													
	2000					✔	✔	✔	✔	✔													
	1600					✔	✔	✔	✔	✔													
	1250					✔	✔	✔	✔	✔													
	1000					✔	✔	✔	✔	✔													
	800				✔	✔	✔	✔	✔	✔													
	640				✔	✔	✔	✔	✔	✔													
	500				✔	✔	✔	✔	✔	✔													
	400				✔	✔	✔	✔	✔	✔													
	320				✔	✔	✔	✔	✔	✔													
	250				✔	✔	✔	✔	✔	✔													
	200				✔	✔	✔	✔	✔	✔													
	L（100）						✔	✔	✔	✔													

				Adv.									SP									
		SR+		Adv.		P	S	A	M													TEXT
	L	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	M	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	S	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	FINE	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	NORMAL	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	FINE+RAW		✔			✔	✔	✔	✔													
	NORMAL+RAW		✔			✔	✔	✔	✔													
	RAW		✔			✔	✔	✔	✔													
D-Rng	AUTO	✔[3]	✔[3]	✔		✔	✔	✔	✔	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]
	DR100			✔	✔[3]	✔	✔	✔	✔													
	DR200			✔[4]		✔	✔	✔	✔													
	DR400			✔[4]		✔	✔	✔	✔													
	STD	✔	✔	✔[3]	✔	✔	✔	✔	✔	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]
	V		✔		✔	✔	✔	✔	✔													
	S		✔		✔	✔	✔	✔	✔													
	B	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔													
	SEPIA	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔													
		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
Color						✔	✔	✔	✔													
Sharp						✔	✔	✔	✔													
H Tone						✔	✔	✔	✔													
S Tone						✔	✔	✔	✔													
NR						✔	✔	✔	✔													
C						✔	✔	✔	✔													
[5]	1	✔[3]	✔			✔		✔		✔	✔	✔	✔	✔			✔	✔	✔	✔	✔	✔
	1		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔			✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	2		✔			✔		✔		✔	✔	✔	✔	✔			✔	✔	✔	✔	✔	✔
	2		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔			✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	OFF		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔[1]		✔	✔	✔	✔	✔	✔
		✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔	✔	✔	✔	✔	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]	✔[3]
					✔	✔	✔	✔	✔													
					✔	✔	✔	✔	✔													
	OFF		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔[1]	✔[1]	✔		✔	✔	✔[1]	✔	✔	✔	✔	✔[1]	✔[1]
	ON	✔[2]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔			✔	✔[2]	✔	✔		✔	✔	✔	✔		

			SR+	📷	Adv.		P	S	A	M	スポーツ	風景	ポートレート	SP									
					Adv.	トイ								ペット	夜景	夜景&人物	花火	夕日	スノー	ビーチ	パーティー	花	TEXT
AFエリア	MF			✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	+					✔	✔	✔	✔	✔													
	[·]			✔	✔[3]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	□		✔[3]	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔
	追尾			✔		✔	✔	✔	✔	✔													
MF ASSIST	スタンダード			✔		✔[3]	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
	ピーキング			✔			✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔
フラッシュ	赤目OFF	AUTO	✔	✔	✔	✔	✔				✔		✔	✔					✔	✔	✔		
		強制発光	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔				✔	✔	✔			✔
		S 強制発光			✔	✔	✔		✔				✔	✔	✔	✔							
		REAR			✔	✔	✔	✔	✔	✔					✔	✔							
		C	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔		✔
		発光禁止	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔[3]	✔	✔	✔	✔	✔[3]	✔	✔	✔	✔	✔[3]	✔
	赤目ON	AUTO	✔	✔	✔	✔	✔				✔		✔	✔					✔	✔	✔		
		強制発光	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔				✔	✔	✔			
		SLOW			✔	✔	✔		✔				✔	✔	✔	✔							
		REAR			✔	✔	✔	✔	✔	✔					✔	✔							
		C	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔		✔
		発光禁止	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔	✔[3]	✔	✔	✔	✔	✔[3]	✔	✔	✔	✔	✔[3]	✔
赤目補正	OFF		✔	✔	✔[1]	✔[1]	✔	✔	✔	✔	✔[1]	✔[1]	✔	✔	✔	✔	✔[1]	✔	✔	✔	✔	✔[1]	✔[1]
	ON		✔	✔			✔	✔	✔	✔			✔	✔	✔	✔		✔	✔	✔	✔		

1 **OFF** に固定されます。
2 **ON** に固定されます。
3 各モードで自動的に設定されます。
4 **ハイキー** / **ローキー** / **ダイナミックトーン**のときは、選択できません。
5 装着するレンズによって異なります。

主な仕様

システム	
型番	FUJIFILM X-M1
有効画素数	1630 万画素
撮像素子	23.6mm × 15.6mm（APS-C サイズ）、X-Trans、正方画素 CMOS 原色フィルター採用
記録メディア	SD/SDHC/SDXC メモリーカード（弊社推奨品）
記録方式	• **静止画**： DCF 準拠 **圧縮**：Exif Ver.2.3　JPEG 準拠 /DPOF 対応 **非圧縮**：RAW（RAF 独自フォーマット、専用のソフトウェアが必要）、RAW+JPG 記録あり • **動画**：MOV 形式 **画像**：H.264 規格準拠 **音声**：リニア PCM（ステレオ）
記録画素数	• L 3:2（4896×3264）　• L 16:9（4896×2760）　• L 1:1（3264×3264） • M 3:2（3456×2304）　• M 16:9（3456 × 1944）　• M 1:1（2304 × 2304） • S 3:2（2496×1664）　• S 16:9（2496×1408）　• S 1:1（1664×1664）
レンズマウント	FUJIFILM X マウント
撮影感度	ISO 200 ～ 6400（⅓ 段ステップ）、AUTO ISO 100/12800/25600 は拡張モード
測光方式	TTL256分割測光 マルチ、スポット、アベレージ
露出制御	プログラム AE（プログラムシフト可能）、シャッター優先 AE、絞り優先 AE、マニュアル露出
露出補正	－2EV ～ +2EV（⅓EV ステップ）
シャッタースピード（メカニカルシャッター併用）	• ¼ 秒～ 1/4000 秒（**P**） • 30 秒～ 1/4000 秒（全モード合わせて） • タイム（30 秒～ 1 秒） • バルブ（最長 60 分）

システム

連写

		選択可能な連写速度（コマ / 秒 [fps]）JPEG	連続記録枚数
	H	5.6	約 30 コマ
		3.0	約 50 コマ
		–	設定した設定値で適正、オーバー、アンダーの 3 コマ
ISO		–	ISO 感度を変化させた 3 コマ
		–	STD、V、S、B、SEPIA の中から 3 コマ
DR		–	R100 **100%**、R200 **200%**、R400 **400%** の 3 コマ

フォーカス	・**モード**：シングル AF/ コンティニュアス AF/ マニュアルフォーカス（リング回転式） ・**AF 方式**：TTL コントラスト AF（AF 補助光付き） ・**AF フレーム選択**：マニュアル / オートエリア / エリア選択（7×7 の 49 エリア選択、フォーカス枠サイズ可変）/ コンティニュアス / 自動追尾
ホワイトバランス	AUTO/ カスタム / プリセット（晴天 / 日陰 / 昼光色蛍光灯 / 昼白色蛍光灯 / 白色蛍光灯 / 電球）
セルフタイマー	OFF、2 秒、10 秒
フラッシュ	・**方式**：手動ポップアップ方式 ・**ガイドナンバー**：約 7（ISO200・m）
フラッシュ発光モード	・**赤目補正 OFF 時**：AUTO/ 強制発光 / 発光禁止 / スローシンクロ / 後幕シンクロ / コマンダー ・**赤目補正 ON 時**：赤目軽減 AUTO/ 赤目軽減＋強制発光 / 発光禁止 / 赤目軽減＋スローシンクロ / 赤目軽減＋後幕シンクロ / コマンダー
アクセサリーシュー	あり（TTL フラッシュ対応）
液晶モニター（LCD）	3.0 型カラー液晶モニター、約 92 万ドット（視野率 約 100%）
動画	・FULL HD **1920 × 1080 30fps**（1080p）、30 フレーム / 秒、音声付き（ステレオ）、連続最大 14 分まで ・HD **1280 × 720 30fps**（720p）、30 フレーム / 秒、音声付き（ステレオ）、連続最大 27 分まで

入出力端子	
HDMI 出力	HDMI ミニ端子
デジタル入出力	USB2.0 High-Speed

電源部、その他	
電源	充電式バッテリー NP-W126（付属）
バッテリー作動可能枚数の目安	・**バッテリーの種類：NP-W126** ・**撮影枚数：約 350 枚（XF35mmF1.4 R 使用時）** CIPA 規格による。バッテリーは付属のもの、記録メディアは SD メモリーカードを使用し測定。 * **注意**：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数を保証するものではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなります。
本体外形寸法	116.9mm × 66.5mm × 39.0（32.1*）mm（幅 × 高さ × 奥行き） * 突起部含まず、奥行は最薄部表記
撮影時質量	約 330g（付属バッテリー、メモリーカード含む）
本体質量	約 280g（付属バッテリー、メモリーカード含まず）
動作環境	**温度**：0℃～＋ 40℃ **湿度**：10 ～ 80％（結露しないこと）

ワイヤレス転送部	
準拠規格	IEEE802.11b/g/n（無線 LAN 標準プロトコル）
使用周波数範囲（中心周波数）	アメリカ・カナダ・台湾：2412MHz ～ 2462MHz（11ch） アメリカ・カナダ・台湾以外：2412MHz ～ 2472MHz（13ch）
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

バッテリー NP-W126	
公称電圧	7.2V
公称容量	1260mAh
使用温度	0℃〜+ 40℃
本体外形寸法 （幅×高さ×厚み）	36.4mm × 47.1mm × 15.7mm
質量	約 47g

バッテリーチャージャー BC-W126	
定格入力	AC 100V 〜 240V　50/60Hz
入力容量	13－21VA
定格出力	DC 8.4V　0.6A
適合バッテリー	FUJIFILM 充電式バッテリー NP-W126
充電時間	約 150 分（+20℃において）
使用温度	5℃〜+ 40℃
外形寸法 （幅×高さ×厚み）	65mm × 91.5mm × 28mm（突起物を除く）
質量	約 77g（本体のみ）

※質量・外形寸法は、仕向け国によって異なります。

① 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。説明中の表記は、カメラ本体の表示と異なる場合があります。

索引

資料

ソフトウェアのお問い合わせについて

1 **お問い合わせの前にお確かめください。**
ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書（本書）やソフトウェアのヘルプから調べることができます。

2 **富士フイルム製品 Q&A・お問い合わせ**
http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/index.html をご覧ください。

3 **巻末のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。**
より早く正確な回答のために、下記の情報をご用意ください。
- カメラの機種名
- ソフトウェアのバージョン
- エラーメッセージ
- どのようなときにトラブルが発生しますか？ / トラブルが発生する直前の操作は？ / カメラの状態は？ / トラブルが発生する頻度は？
- ご使用の PC 機種名、OS バージョン、他の接続機器名

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。

あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

■故障と思われるときは

富士フイルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フイルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が巻末にあります。依頼方法は、次のページの中からお客様のご都合によりお選びください。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。

■修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後 7 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問合せ先、富士フイルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

修理の依頼方法は、下記の中からお客様のご都合に合わせてお選びください。

● FinePix クイックリペアサービス

「お預かり」・「梱包」・「修理」・「お届け」をワンパックにした、お預かりからお届けまでが最短 3 日の宅配修理サービスです。

- 申し込みは、以下から選択してください。
  【クイックリペアサービス申し込み先】
  インターネット：
  http://repairlt.fujifilm.co.jp/quick/index.php
  電話：050-3786-1020
  ※受付時間：月～土 9:00 ～ 17:00（日・祝日・年末年始を除く）
  ファクス：050-3786-2040
  申し込みに際し、「個人情報の取扱について」をご確認ください。
- 当社指定の宅配業者が、ご指定の日時にお預かりに伺い、修理完了品をご自宅までお届けします。
- 保証期間内外を問わず、全国一律のサービス料金が必要です。また有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

●富士フイルム修理サービスセンターへの送付修理

- ご依頼の際「修理依頼票」を記載の上修理依頼品に添付してください。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

● FinePix 特急修理サービス

サービスステーションに直接お越しいただいたお客様を対象とした、60 分を目安にその場で修理を行う持込修理サービスです。

- 機種・故障の内容によっては、対応できない場合があります。
- サービスステーション窓口の状況によっては、対応できない場合があります。

- FinePix 特急修理サービスを実施している当社サービスステーションについては、050-3786-1040 に電話するか、当社ホームページ：http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/index.html をご覧ください。
- その場で修理を行うことができます。後日引き取りもできます。
- 特急修理のために特別なサービス料金は不要です。ただし有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、お引き取り時にサービスステーション窓口でお支払いください。

●お買上げ店への持込修理

- 修理料金およびその支払い方法については、お持ちいただいたお店にご確認ください。

修理依頼票

※ あらかじめ「個人情報の取扱について」をご確認ください。

※ 本紙は拡大コピーしてお使いください。

※ 下表の □ は、該当する項目にチェック（✔）を入れてください。

<table>
<tr><td colspan="2">フリガナ</td><td></td><td rowspan="2">電話番号</td><td colspan="2" rowspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">お名前</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>FAX 番号</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">ご住所</td><td colspan="4">〒　　　　－</td></tr>
<tr><td colspan="2">製品名（型名）</td><td></td><td colspan="2">ボディ番号（機番）
保証書あるいは本体底面に記載してある
8 桁の番号です。
修理お問い合わせ時にご連絡ください。</td><td>NO.</td></tr>
<tr><td colspan="2">修理品への添付</td><td colspan="4">□保証書　・　□メモリーカード　・　□バッテリー
□（　　　　）□（　　　　）
□（　　　　）□（　　　　）</td></tr>
<tr><td colspan="2">見積</td><td colspan="4">□要（修理金額　　　　円以上見積り）　・　□不要</td></tr>
<tr><td colspan="2">見積連絡方法</td><td colspan="4">□電話　・　□ FAX</td></tr>
<tr><td colspan="2">故障症状
（故障時の様子）</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td colspan="2">ご購入時期</td><td colspan="4">20　　年　　月　　　※保証書を添付してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">修理履歴</td><td colspan="4">□初回　・　□再依頼（□同一症状　・　□別症状）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">発生状況</td><td>発生頻度</td><td colspan="4">□開始時のみ　・　□いつも　・　□時々（　　日に　　回）</td></tr>
<tr><td>動作モード</td><td colspan="4">□再生時　・　□撮影時　・　□ショックを与えると</td></tr>
<tr><td>他機との接続</td><td colspan="4">□無　・　□有（接続機　　　　）</td></tr>
<tr><td>使用電源</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

FUJIFILM

富士フイルム株式会社

●本製品に関するお問い合わせは…

※あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルムFinePixサポートセンター TEL 050-3786-1060 ご利用いただけない場合は 0228-30-2992

月曜日〜金曜日（日・祝日・年末年始を除く）
9：00 〜 17：40 / 土曜日 10：00 〜 17：00

FAX 050-3786-2060 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

●本製品の関連情報は…

※弊社ホームページ http://fujifilm.jp/ の自己解決に役立つ「Q＆A検索」もご利用ください。

■ 修理サービスQ&A
修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。
http://repairlt.fujifilm.co.jp/faq/after/index.html

■ 修理納期検索サービス
東京もしくは大阪のサービスステーションおよび富士フイルム修理サービスセンターへ修理依頼品を送付、あるいは持ち込みされた場合、修理完了予定日を検索することができます。
http://repairlt.fujifilm.co.jp/repair/certificate.jsp

■ FinePix修理概算見積サービス
当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を算出できます。
http://repairlt.fujifilm.co.jp/estimate/index.php

●修理の受付は…

※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■ 修理のご相談受付窓口

富士フイルム修理サービスセンター TEL 050-3786-1040 月曜日〜金曜日（日・祝日・年末年始を除く）
9：00 〜 17：40 / 土曜日 10：00 〜 17：00

FAX 050-3786-2040 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

■ 修理品ご送付受付窓口

富士フイルム修理サービスセンター 〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1/TEL：050-3786-1040

▶お急ぎの場合は、全国どこからでも **【FinePixクイックリペアサービス】** お預かりからお届け迄が最短3日の宅配修理サービス
http://repairlt.fujifilm.co.jp/quick/index.php / TEL：050-3786-1020

▶お近くにサービスステーションがあれば **【FinePix 特急修理サービス】** 60分を目安にその場で修理を行う持込修理サービス
※故障の内容によっては、対応できない場合があります。

サービスステーションにつきましては、弊社ホームページ http://fujifilm.jp/ または上記の＜修理ご相談受付窓口＞にてご確認・お問い合わせください。

●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日〜金曜日 9：00 〜 17：40 / 土曜日 10：00 〜 17：00 ※日・祝日・年末年始を除く）TEL 050-3786-1711